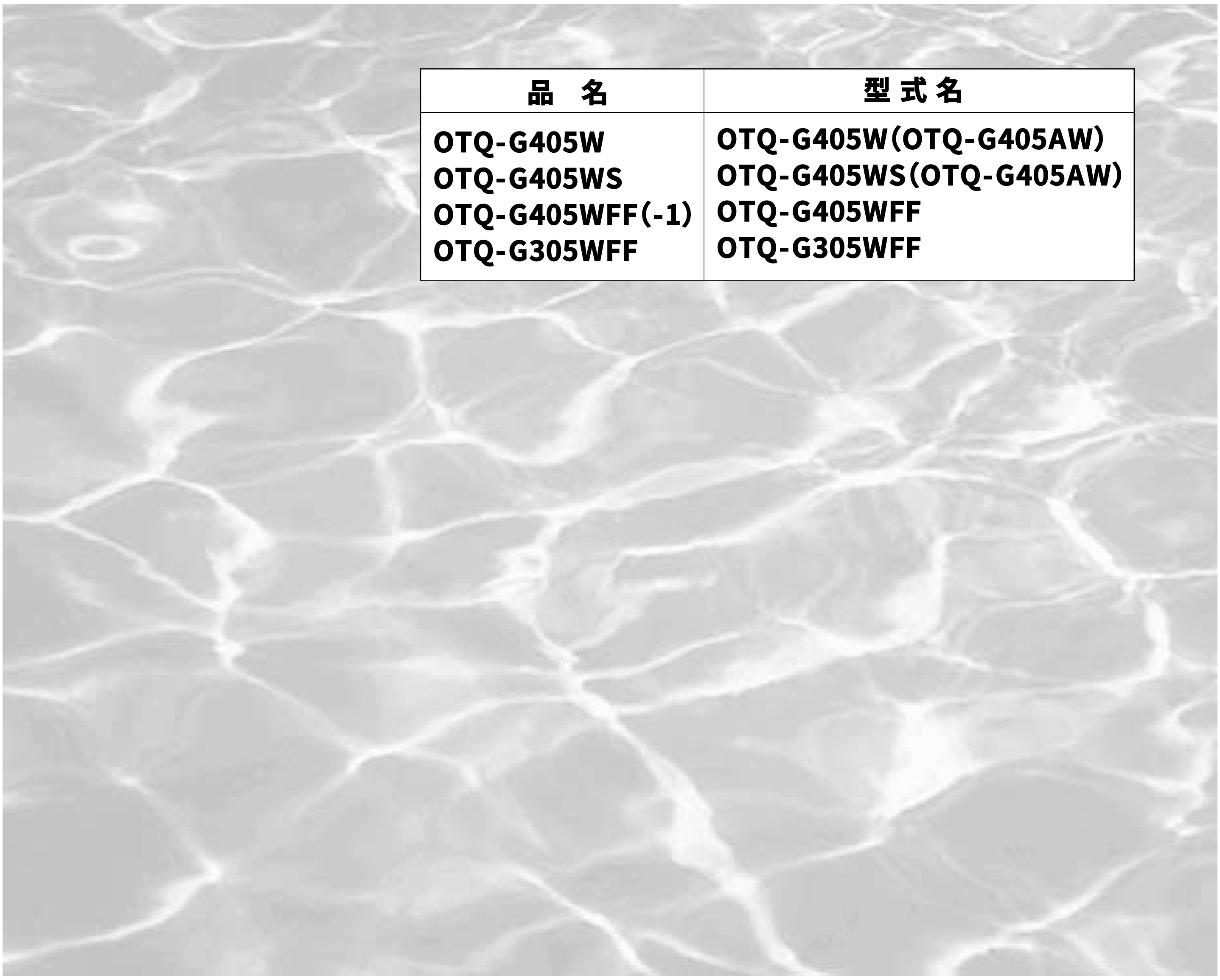
NORITZ

石油給湯機付ふろがま

取扱説明書 保証書付



品　名	型 式 名
OTQ-G405W	OTQ-G405W(OTQ-G405AW)
OTQ-G405WS	OTQ-G405WS(OTQ-G405AW)
OTQ-G405WFF(-1)	OTQ-G405WFF
OTQ-G305WFF	OTQ-G305WFF

このたびは弊社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●この説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。

●保証書（裏表紙）は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。

●この説明書（保証書付）はいつでもご覧になれるところに保管してください。

株式会社ノーリツ

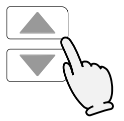
SEA8788③

SEA8788 T

こんなことができます

お湯を出す

お湯の温度をお好みの温度に設定して使用で　きます。



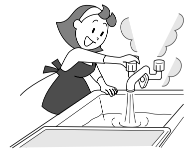
（目安の温度：℃）

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60
食器洗いなど				シャワー、			給湯など		給湯など					《高温》

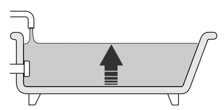
※OTQ-G305WFFは32℃，35℃の設定は　　できません。

おふろのお湯はりをする

温度・湯量を設定して
給湯栓を開ける

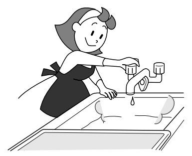


設定した湯量たまったら



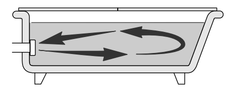
メロディでお知らせ

給湯栓を閉める



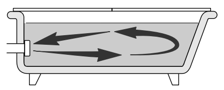
おふろを沸かす
残り湯を沸かし直す

設定した温度で



おふろ沸かしストップ

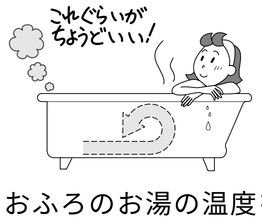
お湯がさめたら



自動で追いだき保温

ふろ保温スイッチを押してから４時間以内
※保温時間は変更できます

おふろの追いだきをする



おふろのお湯の温度を
上げることができます

リモコンの特徴 ……………………… 1
特に注意していただきたいこと …………… 3
各部のなまえ（機器本体）
　外観図 ……………………………… 9
　構造図 ……………………………… 10
各部のなまえ（リモコン）
　浴室リモコン（RC-7503S）…………… 11
　台所リモコン（RC-7503M）…………… 13
使用前の準備
　燃料 ………………………………… 15
　給油 ………………………………… 15
　運転開始前の準備と確認 …………… 16

使いかた

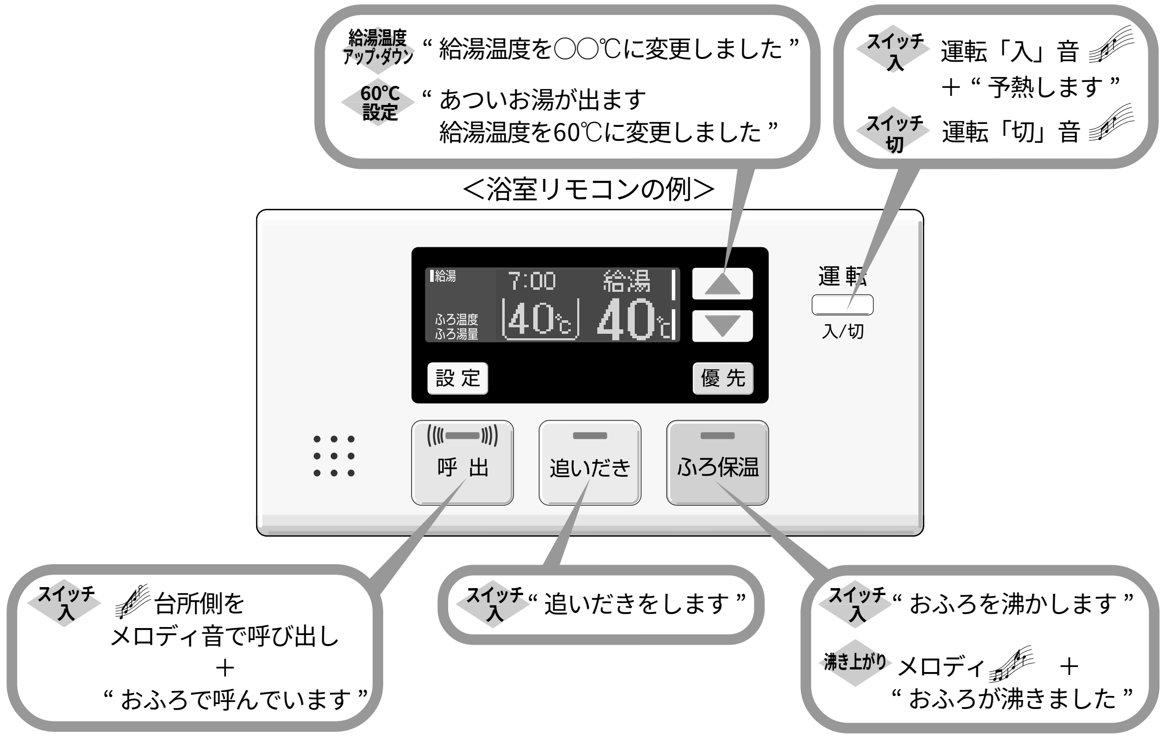
時計を合わせる ……………………… 18
お湯を出す/お湯の温度を調節する ……… 19
おふろのお湯はりをする ……………… 21
おふろを沸かす/残り湯を沸かし直す …… 23
おふろの追いだきをする ……………… 25
浴室から台所リモコンのメロディを鳴らす … 26
ヒータ予熱の時間帯を予約する ……… 27
各設定を変更する/連絡先を表示させる …… 31
（おふろの保温時間、リモコンの音量・音声ガイド、運転の自動「切」時間、予熱音声、リモコンの表示の節電、機器の水抜き）
停電後の使用方法 …………………… 33
使用上の注意 ………………………… 33
長期間使用しないとき ……………… 33
洗濯注湯ユニット（別売品）をご使用のとき … 33
即湯ユニット（別売品）をご使用のとき …… 34
冬期の凍結による破損予防 …………… 34

安全装置 ……………………………… 37
その他の装置 ………………………… 37
日常の点検・手入れのしかた ………… 38
定期点検 ……………………………… 41
故障・異常の見分けかたと処置方法 …… 42
部品交換のしかた …………………… 47
仕様 …………………………………… 47
アフターサービスについて …………… 49
据え付け ……………………………… 50
試運転 ………………………………… 51
無料修理保証書 ……………………… 裏表紙

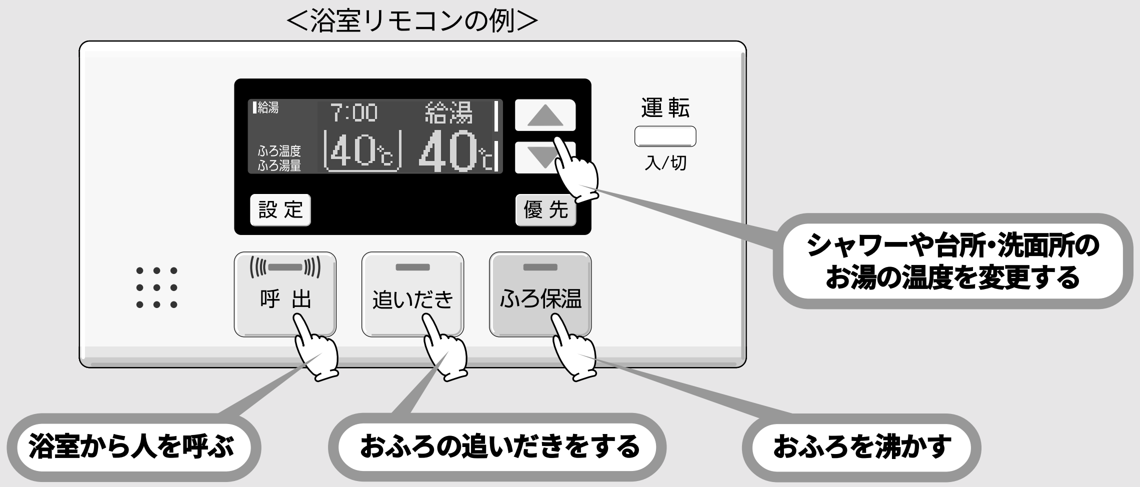
リモコンの特徴

リモコンが音声でお知らせします　＜音声ガイド＞

操作の内容を女性の声やメロディでお知らせします。
片方のリモコンで温度設定を変更したことを、もう一方のリモコンでも声でお知らせします。
お年寄りやお子様にも、耳で聞いて確認できるわかりやすい設計です。
（音声ガイドをやめたり、音量を変更したりすることもできます。**(☞P31,32)**）



よく使う操作はワンタッチでＯＫ



リモコン操作を文字でお知らせします　＜文字ガイド＞

操作の内容を文字でお知らせします。

例）

など･･･

また、運転の状態を文字でお知らせします。

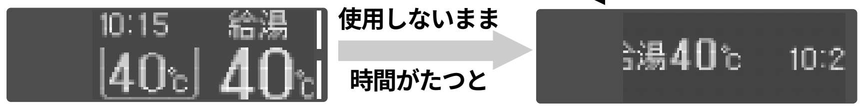
例）

など･･･

リモコン画面の焼き付き防止　＜スクロール表示＞

画面の焼き付き防止のため、機器を使用しないまま約10分（おふろの機能を使った場合、浴室リモコンでは約１時間）たつと画面の状態が変わります（スクロール表示）。

（ヒータ予熱の予約設定していない場合の例）

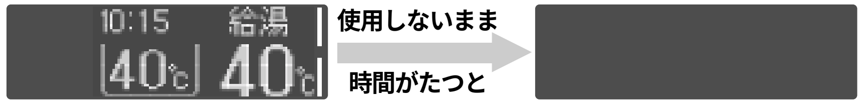


現在時刻（時刻設定している場合）と給湯温度が横にスクロールします
※リモコンの種類により表示が異なります

＊再使用したり、スイッチを押すと、スクロール表示を解除します。

リモコンの無駄な電力消費を防ぐ　＜表示の節電＞

リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、また画面の焼き付き防止のために＜表示の節電＞の設定ができます（☞P31,32）。機器を使用しないまま約10分（おふろの機能を使った場合、浴室リモコンでは約１時間）たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。



※画面が消えても、運転は「入」の状態です

＊再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
＊リモコンの種類により、給湯温度を60℃に設定している場合に、安全のため、表示の節電をするものとしないものがあります。

細かい設定は「設定スイッチ」で

おふろのお湯はり湯量を設定するとき、おふろ沸かしのふろ温度を設定するときなどは、まず「設定スイッチ 設定 」でおこないたい機能を選び、それぞれを設定してください。（詳しくは本文の操作説明をお読みください）

特に注意していただきたいこと-1

安全に正しくお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するため、ここに示した事項は ⚠**警告**、⚠**注意**、**お願い**に区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■ 危害・損害の程度による内容の区分

⚠**警告**	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠**注意**	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

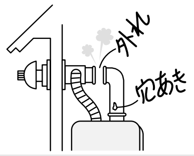
■ 注意・禁止内容の絵表示

	禁止		高温注意
	分解禁止		感電注意
	ガソリン禁止		必ずおこなう
	接触禁止		電源プラグを抜く

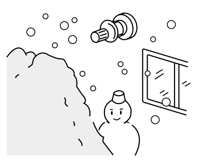
⚠警告

ガソリン厳禁
灯油（JIS１号灯油）を必ず使用してください。
ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災のおそれがあります。

外れ危険
【屋内設置形の場合】
給排気筒（管・ホース）が正しく接続されているか、穴があいていないか点検してください。外れたり穴があいていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。



給排気筒トップの閉そく危険
【屋内設置形の場合】
積雪が多いときには、給排気筒トップの周りが雪でふさがれていないことを確認してください。ふさがれているときは、除雪してください。運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。



⚠注意

高温部接触禁止
燃焼中や消火直後は、排気口・給排気筒トップやその周辺に手などふれないよう注意してください。やけどのおそれがあります。

高温注意
- ●シャワーなどお湯を使用するときは、手でお湯の温度を確かめてから使用してください。やけどのおそれがあります。
- ●入浴するときは、手でお湯の温度を確かめてから入浴してください。やけどのおそれがあります。
- ●おふろ沸かし（沸かし直し）・追いだきのときは、循環アダプター付近はあつくなる場合がありますのでさわらないでください。やけどのおそれがあります。
- ●おふろ沸かし（沸かし直し）・追いだき時、同時にお湯を使用した場合、またはお湯の使用直後におふろ沸かし（沸かし直し）・追いだきをした場合に、循環アダプターからの吹き出し温度が高くなりますので注意してください。やけどのおそれがあります。
- ●お湯の使用中は、浴そう水の有無に関わらず、循環アダプターからあついお湯が出たり、まわりが高温になる場合がありますので注意してください。やけどのおそれがあります。

可燃物禁止
機器の上や周囲に燃えやすい物（紙、洗濯物、揮発油、スプレー缶など）を置かないでください。
火災のおそれがあります。

分解修理・改造の禁止
故障、破損したら、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。

電源コードを傷めない
電源コードに無理な力を加えたり、物を載せたりしないでください。また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。

電源プラグは確実に差し込む
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災の原因になります。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く
長期間使用しないときは、電源プラグを抜くとともに、凍結を予防するため、必要な処置をしてください。火災や予想しない事故の原因になります。（☞P36）

特に注意していただきたいこと-2

⚠注意

油漏れ注意
オイルタンクや送油管の接合部などから、油漏れがないことを確かめてください。
油漏れにより、火災の原因になります。

電源プラグのお手入れを
ときどきは電源プラグを抜き、ほこりを除去してください。ほこりがたまると、感電や火災の原因になります。

排気口・トップ周辺の確認
排気口・給排気筒トップのすぐ前に物を置かないでください。
異常燃焼や火災の原因になります。

高温出湯に注意
湯を高温に設定しているときは、高温水に直接ふれないように注意してください。
やけどのおそれがあります。

給湯使用中の注意
シャワー使用中などには、使用者以外は湯温設定を変えたり、リモコンの優先を切り替えないでください。(☞P20)突然、高温設定された湯が出ると、やけどのおそれがあります。

使用電源の確認
この機器の電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です。
他の電源で使用すると、故障・火災の原因になります。

感電に注意
電源プラグは、ぬれた手でさわらないでください。
感電の原因になります。

ゴム製送油管の屋外使用禁止
ゴム製送油管を屋外で使用しないでください。
油漏れにより火災のおそれがあります。

子供に注意
浴そうの循環アダプター付近で水に潜らないでください。また、子供だけで浴室内で遊ばせないでください。思わぬ事故の原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠注意

給気口詰まり注意
機器の給気口にほこりが目詰まりしていないことを確かめてください。給気口は定期的に掃除してください。目詰まりにより、不完全燃焼から人身事故につながるおそれがあります。

追いだき時の注意
浴そうが空の状態で追いだきスイッチを押さないでください。循環アダプターより高温水が吹き出し、やけどのおそれがあります。

変質灯油・不純灯油を使用しない
変質灯油(日光の当たる場所や温度の高い場所で長期間保管して変質した灯油)や、不純灯油(灯油以外の油・水・ゴミなどが混入した灯油)は使用しないでください。機器の故障の原因になります。

囲い禁止【屋外設置形の場合】
機器や排気口を波板などで囲わないでください。
不完全燃焼や火災のおそれがあります。

お願い

用途について
- 台所・おふろ・洗面等などの給湯、シャワー、おふろを沸かす以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故になるおそれがあります。
- 車両・船舶に搭載して使用しないでください。
- この製品は家庭用です。業務用のような使い方をされると、製品の寿命を短くします。この場合の修理は、保証期間内でも有料となります。
- 機器や配管内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いず、雑用水としてお使いください。

運転ランプの消灯確認
おやすみやお出かけになるときは、運転スイッチ「切」の状態であることを確認してください。

異常時の処置
万一、異常を感じたり、緊急の場合は、あわてず消火してください。(運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜き、送油バルブを閉めてください。)それから販売店または、弊社窓口へ連絡してください。

特に注意していただきたいこと-3

お願い

スス取り剤の使用禁止	スス取り剤を使用すると、熱交換器等の損傷を起こす場合がありますので、絶対に使用しないでください。
リモコンについて	●リモコンの掃除には、ベンジンや油脂系の洗剤を使わないでください。変形する場合があります。 ●浴室リモコンは防水型ですが、故意に水をかけないでください。故障の原因になります。（台所リモコン・増設リモコンは防水型ではありません。） ●台所リモコン・増設リモコンに炊飯器、電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。
日常のお手入れ	浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。 湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。
井戸水または温泉水で使うと	水道法で定められた飲料水の水質基準に適合しない井戸水、または温泉水で使うと機器を腐食させる原因になります。
入浴剤や洗剤の注意	●硫黄（イオウ）・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は使用しないでください。入浴剤や洗剤は注意文を充分にお読みになってからお使いください。機器の熱交換器が腐食する原因になります。 ●入浴剤を使用して追いだきしたときに、沸き上がり音や振動する音が出る場合は、その入浴剤の使用をやめてください。 ●炭酸ガスタイプの入浴剤を使用すると、場合によっては、追いだきができなくなる場合もあります。
太陽熱温水器との接続禁止	太陽熱温水器とは絶対に接続しないでください。お湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯が出るなど、やけどの危険性が高くなります。また機器の故障の原因にもなります。
灯油の保管	灯油は必ず火気・雨水・ごみ・高温および直射日光をさけた場所に保管してください。灯油が変質する原因になります。
凍結に注意	冬期は、凍結による機器の破損予防のため必要な処置をしてください。(☞P34～36) 凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

お願い

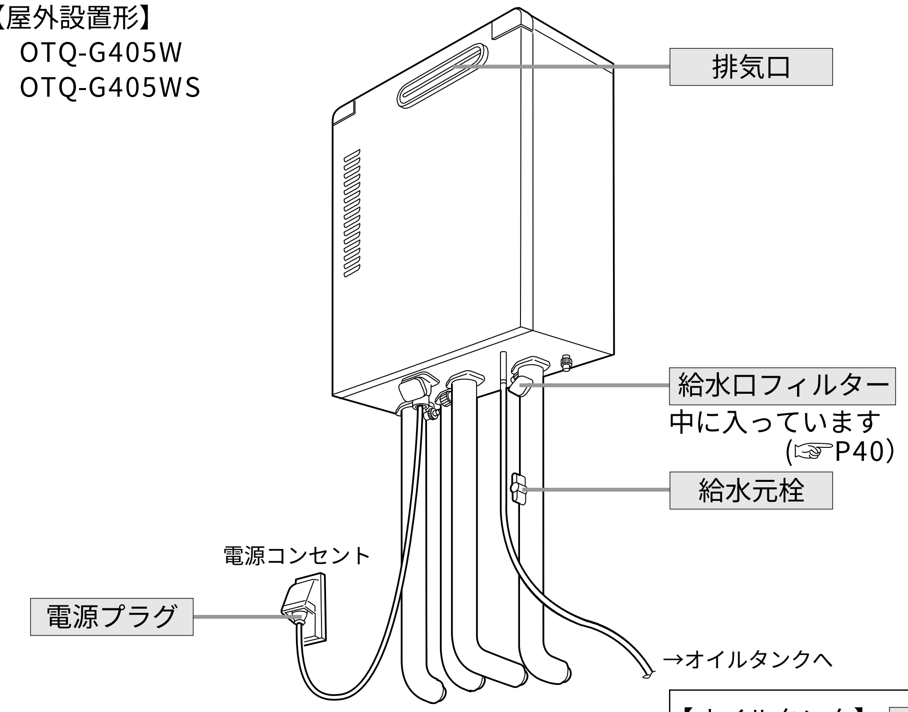
結露現象に注意	●水を出すときには、運転スイッチ「切」の状態でお湯側より水を出すことはしないでください。 シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。 ●お湯を出すときには、運転スイッチが「入」であることを確認してお湯を出してください。 ※運転スイッチ「切」の状態でお湯側より水を出すと、熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因となったり、電気部品の損傷につながります。
おふろ沸かし時の注意	浴そうの循環アダプターをタオルなどでふさいだり、穴に物を詰めたりしないでください。循環不良になり、おふろ沸かしができません。
排気ガスについて	排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシなどに当たらないように設置してください。増改築時も同様に注意してください。 ガラスが割れたり、変色する原因になります。
市販の補助用具使用について	●この機器の純正部品以外は使用しないでください。 思わぬ事故を予防するため。 ●水圧の低い地域では、泡沫水栓を使用しないでください。 ●給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。（わからないときは、販売店または、弊社窓口に確認してください。）
積雪時の注意	積雪時には給排気口の点検・除雪をおこなってください。給・排気口への積雪や屋根から落ちた雪により、給・排気口がふさがれて不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

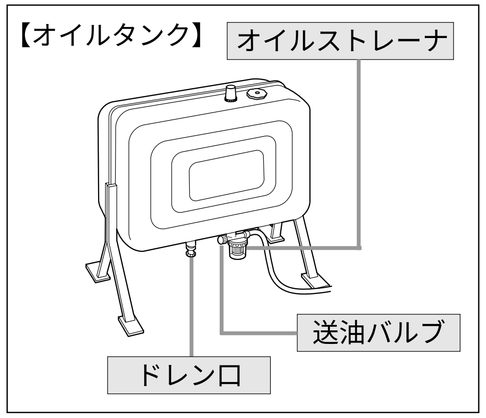
各部のなまえ（機器本体）

※イラストは施工例です。
配管の形状、給水元栓・オイルタンク・電源コンセントの位置・形状など実際と異なります。

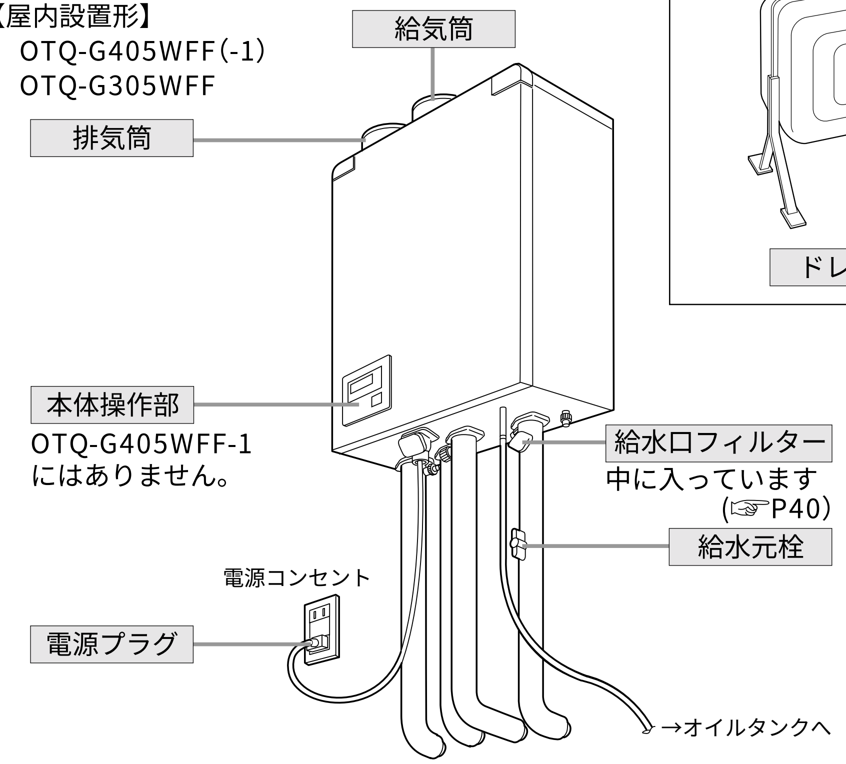
外　観　図

【屋外設置形】
OTQ-G405W
OTQ-G405WS



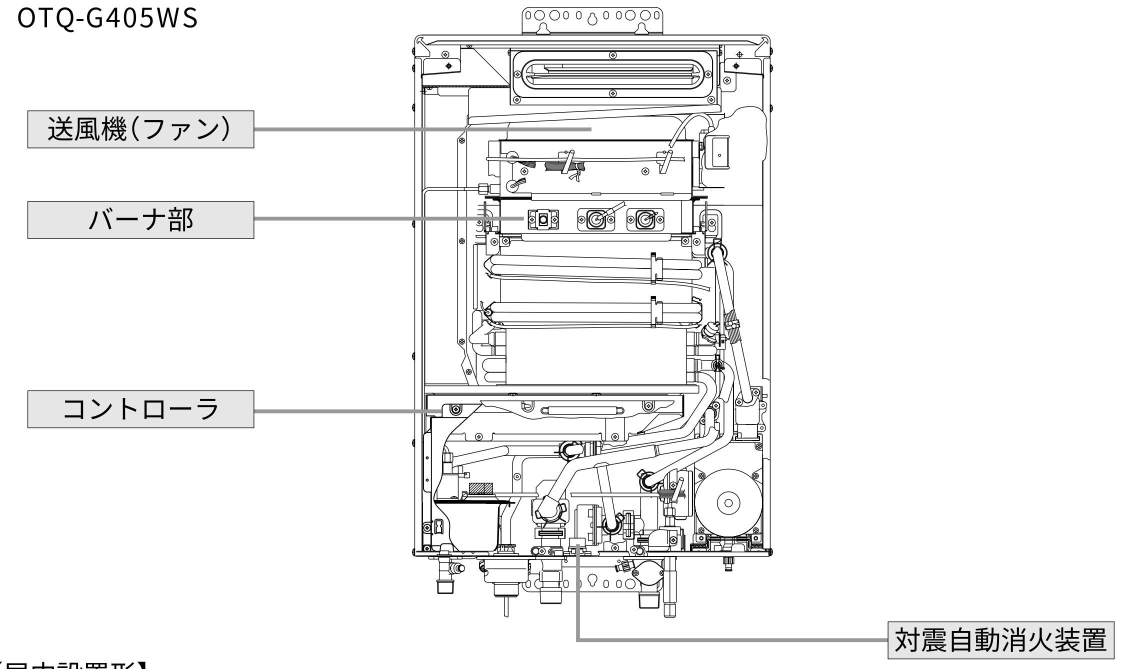


【屋内設置形】
OTQ-G405WFF(-1)
OTQ-G305WFF

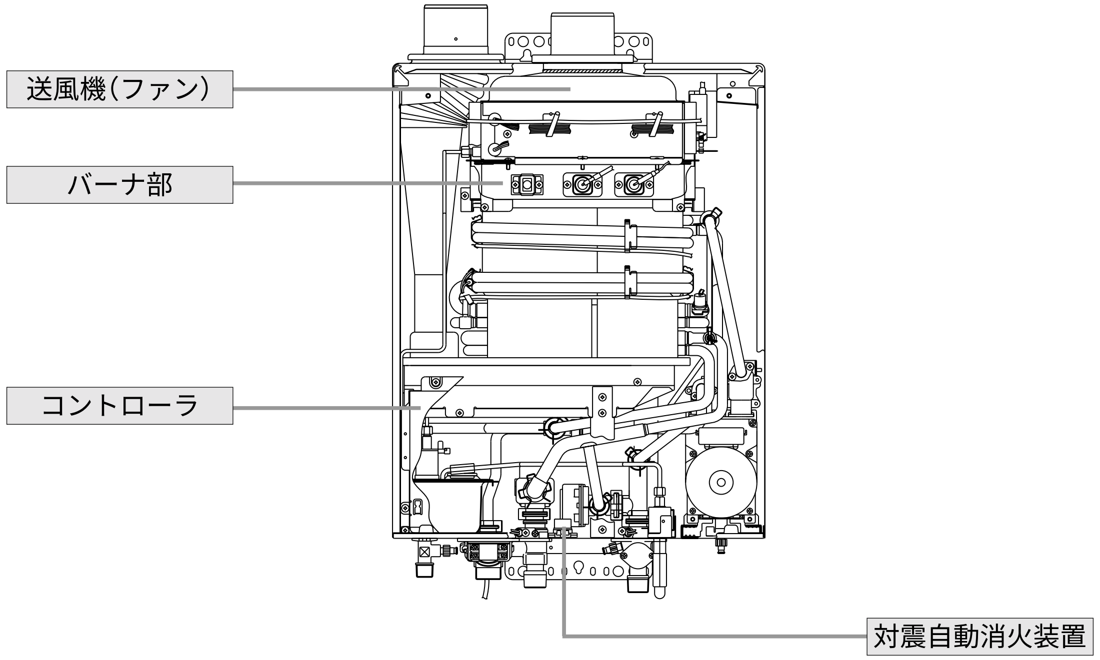


構　造　図

【屋外設置形】
OTQ-G405W
OTQ-G405WS



【屋内設置形】
OTQ-G405WFF(-1)
OTQ-G305WFF



各部のなまえ（リモコン-1）

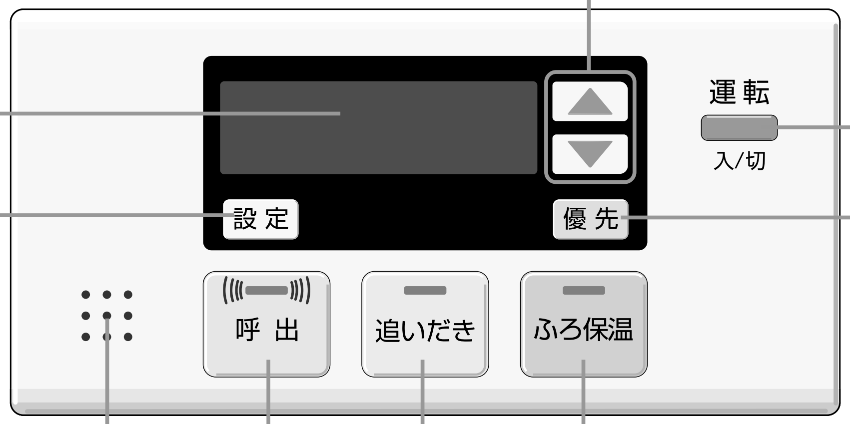
浴室リモコン＜RC-7503S＞

(浴室に取り付けます)

表示画面
(☞次ページ)

選択スイッチ
お湯の温度の設定に。 (☞P19,20)
その他、ふろ温度・ふろ湯量の設定など、各種設定をするときに。

運転スイッチ
運転の入・切に。



スピーカ

優先スイッチ
(☞P20)

設定スイッチ
ふろ温度・お湯はり湯量の設定など、各種設定をするときに、まずこのスイッチを押してください。

ふろ保温スイッチ
おふろを沸かすときに。 (☞P23,24)

自動でお湯はりはしません。

呼び出しスイッチ
(☞P26)

追いだきスイッチ
おふろの追いだきをするときに。 (☞P25)

その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をごらんください。

表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。

機能表示
この製品でできる機能を表示します。
運転「入」にした直後と設定スイッチを押したときにすべての機能を表示しますが、しばらくすると表示が消えます。

時刻表示
(例：10時15分)
時計合わせをしていない場合は、「ふろ」表示になります。

故障表示
不具合が生じたとき、故障表示します。
(☞P45)

給湯表示
お湯の温度を60℃に設定した場合は、10秒間「高温」が点滅します。

機能バー表示
現在おこなっている動作、設定できる機能をバー表示で示します。
(例：「給湯」の状態を示す)
しばらくすると機能表示とともに消えます。

選択バー表示
操作可能な選択スイッチ上・下をバー表示の点灯や点滅によって指示します。
給湯表示画面でここが点灯しているときは、お湯の温度調節ができます。

燃焼表示
給湯や、お湯はり・追いだき・保温など、機器の燃焼時に表示します。

ふろ温度表示
(例：40℃)

給湯温度表示
(例：40℃)

各部のなまえ(リモコン-2)

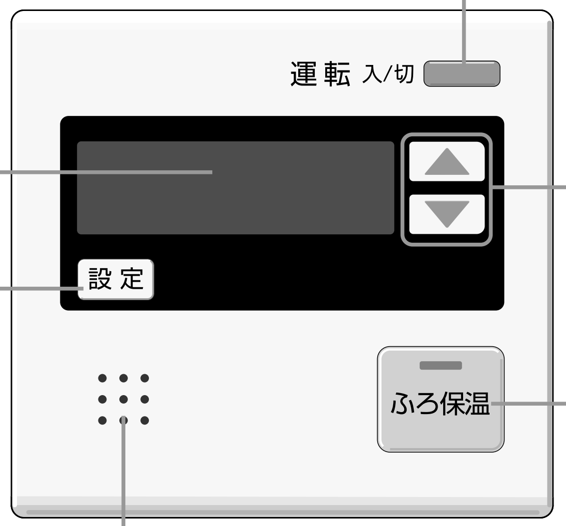
台所リモコン(本体操作部)＜RC-7503M＞

(機器に組み付けられています)

表示画面
(☞次ページ)

運転スイッチ
運転の入･切に。

選択スイッチ
お湯の温度の設定に。
(☞P19,20)
その他、時計合わせなど、各種設定をするときに。



設定スイッチ
おふろ沸かしの予約、時計合わせ、ヒータ予熱の予約など、各種設定をするときに、まずこのスイッチを押してください。

スピーカ

ふろ保温スイッチ
おふろを沸かすときに。
(☞P23,24)

自動でお湯はりはしません。

その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をごらんください。

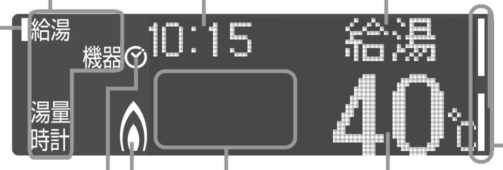
表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。

機能表示
この製品でできる機能を表示します。
運転｢入｣にした直後と設定スイッチを押したときにすべての機能を表示しますが、しばらくすると表示が消えます。

時刻表示
(例：10時15分)

故障表示
不具合が生じたとき、故障表示します。
(☞P45)



給湯表示
お湯の温度を60℃に設定した場合は、10秒間｢高温｣が点滅します。

機能バー表示
現在おこなっている動作、設定できる機能をバー表示で示します。
(例：｢給湯｣ の状態を示す)
しばらくすると機能表示とともに消えます。

選択バー表示
操作可能な選択スイッチ上･下をバー表示の点灯や点滅によって指示します。
給湯表示画面でここが点灯しているときは、お湯の温度調節ができます。

タイマー表示
ヒータ予熱の時間帯の予約時に表示します。

給湯温度表示
(例：40℃)

燃焼表示
給湯や、お湯はり･追いだき･保温など、機器の燃焼時に表示します。

おふろ沸かし表示
おふろの自動沸かしで、おふろを沸かしているときに表示します。

浴そうのお湯の温度(目安)
ふろ設定温度(沸き上がり温度)

保温表示
保温中表示します。

使用前の準備 -1

⚠ 警告
外れ危険
【屋内設置形の場合】

給排気筒が正しく接続されているか、穴があいていないか点検してください。外れたり穴があいていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。

⚠ 注意
油漏れ注意

オイルタンクや送油管の接合部などから、油漏れがないことを確かめてください。
油漏れにより、火災の原因になります。

⚠ 注意
排気口・トップ周辺の確認

排気口・給排気筒トップのすぐ前に物を置かないでください。
異常燃焼や火災の原因になります。

⚠ 注意
可燃物禁止

機器の上や周囲に燃えやすい物（紙、洗濯物、揮発油、スプレー缶など）を置かないでください。
火災のおそれがあります。

燃　料

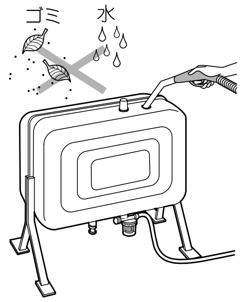
●燃料は、必ず灯油（JIS１号灯油）をお使いください。

⚠ 警告
ガソリン厳禁

灯油（JIS１号灯油）を必ず使用してください。
ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災のおそれがあります。

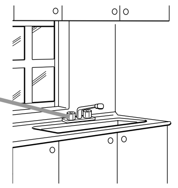
給　油

●オイルタンクへの給油の際の注意
・給油は、必ず運転スイッチを「切」にしてからおこなってください。
・水やゴミなどが入らないよう、特に注意してください。
・給油が終わった後、給油口のふたは、確実に締めてください。
・こぼれた灯油は、よく拭きとってください。
●オイルタンクを空にしないでください
・空にすると、着火がスムーズにできない場合があります。

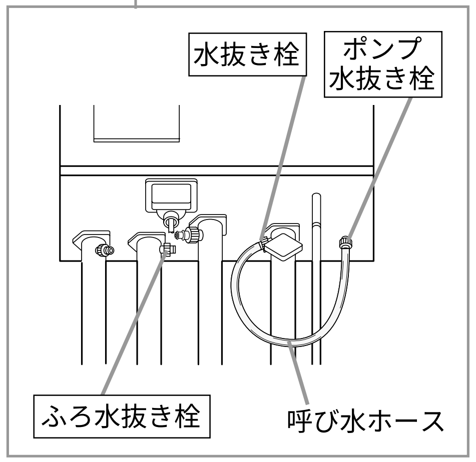


運転開始前の準備と確認

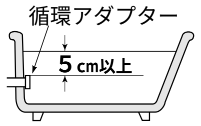
●準備と確認を、次の**１～11**の手順でおこなってください。
（屋内設置形で説明していますが、その他の機種でも手順は同じです。）



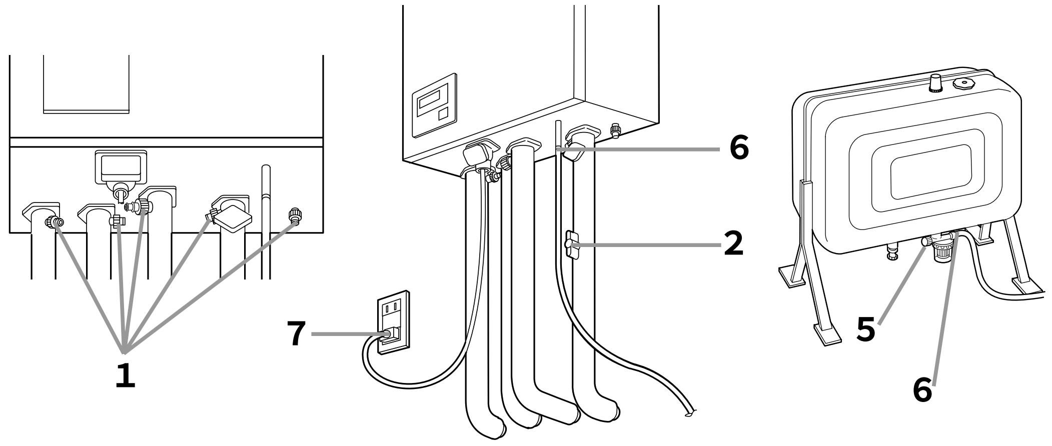
1. 機器の水抜き栓、排水栓が閉まっていることを確認する。
2. 給水元栓を開く。
3. 給湯栓を開けて水が出ることを確認し、再度閉める。
4. 以下の方法でポンプの呼び水をする。
（次ページの方法でも呼び水は可能です。）
（1）ふろ水抜き栓とポンプ水抜き栓を開ける。
（2）水抜き栓についている呼び水ホースの先端をポンプ水抜き栓につなぎ、水抜き栓を左に回してポンプに水を入れる。
（ふろ水抜き栓より水が出るまで）
（3）水抜き栓を閉めた後、ポンプ水抜き栓・ふろ水抜き栓を閉める。



5. オイルタンクの送油バルブを開ける。
6. オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないか確認する。
7. 電源プラグをコンセント（交流100Ｖ）に差し込む。
（対震自動消火装置がセットされます。）
8. 運転スイッチを押して「入」にする。
（運転スイッチ点滅）
9. 浴そうの排水栓をしっかり閉める。
10. 浴そうに水を入れる。（循環アダプター上部より約５㎝以上）
11. 運転スイッチが点灯に変わったら追いだきスイッチを押し、循環アダプターからあつい湯が出ることを確認する。



※初めてご使用になるときなどは、送油経路に空気が入って点火せず、リモコンに［110］または［120］または［290］が点滅することがあります。この場合は、運転スイッチを「切」にし、３秒以上たってから再び運転スイッチを「入」にしてください。

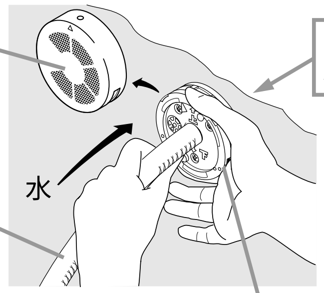


使用前の準備 -2

次の方法でも呼び水は可能です。

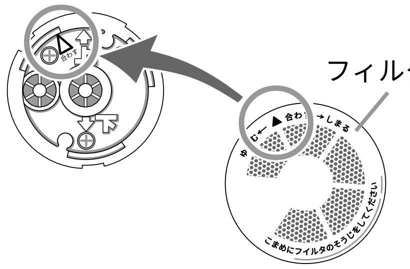
（1）浴そう内の循環アダプターのフィルターを左に回してはずし、循環アダプターの上端まで浴そうに水を入れる。

（2）循環アダプター本体右下部の吹き出し口を指で押さえ、中央の部分にホースで水を入れる。
循環アダプター本体から空気が出なくなったら終了する。

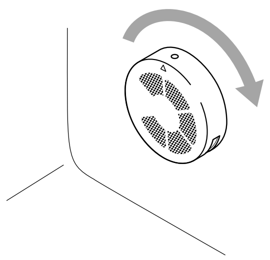


（3）フィルターを元どおり取り付ける。

1．△同士を合わせてはめ込み、

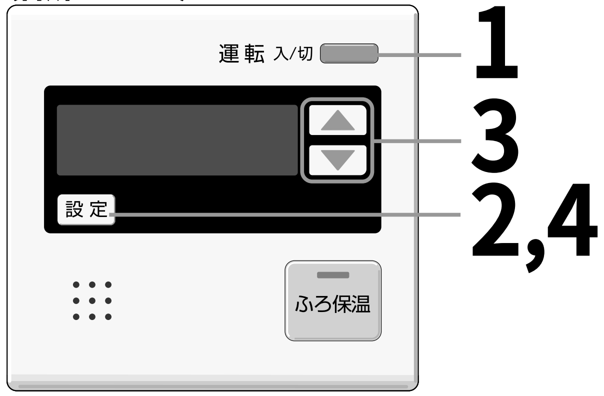


2．右に止まるまで回して固定



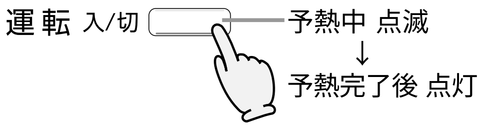
使いかた
時計を合わせる

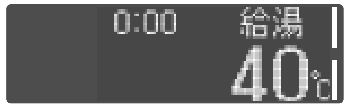
（台所リモコン）



※本取扱説明書では本体操作部も台所リモコンとして説明しています。

1 運転スイッチを「入」にする



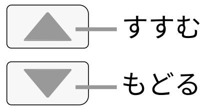


※運転スイッチが点滅中でも点灯中でも時計合わせできます。

2 設定スイッチを押して バー表示を「時計」の位置にする

設定スイッチを押すごとに、順にバー表示が移動します

3 選択スイッチで 現在時刻を設定する



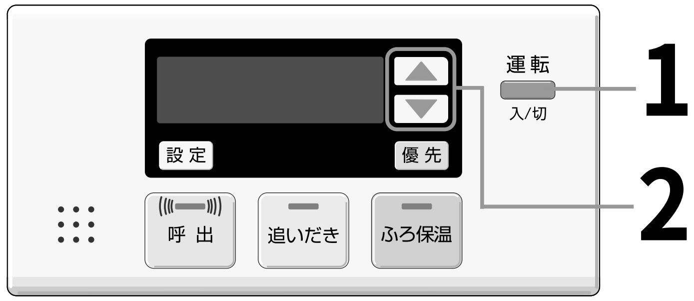
一度押すごとに1分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。

4 設定スイッチを押して 給湯表示画面に戻す

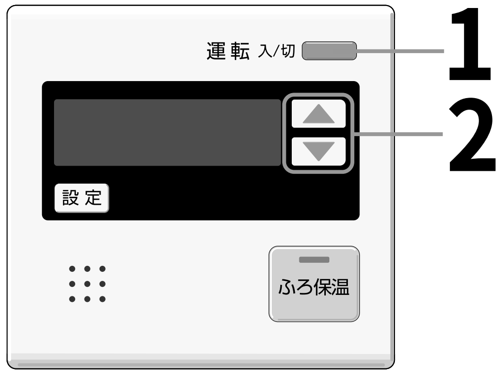
時計合わせをしていない場合、浴室リモコンでは時計表示のかわりに「ふろ」を表示します。

使いかた
お湯を出す/お湯の温度を調節する

（浴室リモコン）



（台所リモコン）



この給湯機は灯油をガス化するのに電気ヒータを用いており、運転スイッチを「入」にしてから給湯・ふろ運転が使用できるようになるまでに、約２分30秒（※1）のヒータ予熱時間が必要です。
そのため運転スイッチを「入」にしてからヒータが温まるまでは、運転スイッチが点滅し、その間は給湯を使用しても燃焼しないためお湯は出ません。
ヒータ予熱の予約機能（☞P27〜30）を使えば、待たずに給湯・ふろ運転を使用することができます。

また、長時間使用しない場合は運転「切」にすると節電になります。
運転スイッチを切り忘れても、１時間（※2）使用しないと自動的に運転「切」にする機能が付いています。

※1　季節によって予熱時間は異なります。
※2　運転「切」にするまでの時間は変更可能です（☞P31,32）

やけど予防のために

⚠ 注意

高温注意

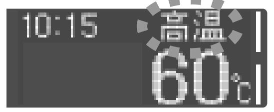
給湯使用中の湯温設定注意

●シャワーなどお湯を使用するときは、手でお湯の温度を確かめてから使用してください。やけどのおそれがあります。
●入浴するときは、手でお湯の温度を確かめてから入浴してください。やけどのおそれがあります。

シャワー使用中などには、使用者以外は湯温設定を変えたり、リモコンの優先（☞ 次ページ）を切り替えないでください。突然、高温設定された湯が出ると、やけどのおそれがあります。

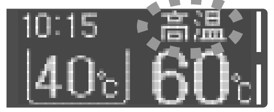
●60℃に設定したときは、“あついお湯が出ます。給湯温度を60℃に変更しました”とお知らせし、右のような表示になります。
●表示の温度をよく確かめてから使用してください。60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。

約10秒間 点滅→点灯



＜台所リモコン＞

約10秒間 点滅→点灯



＜浴室リモコン＞

給湯量と給湯温度の早見表 ※（　）内は湯、水を混合した値です。

＜OTQ-G405W,WS,WFF(-1)＞

給湯温度＼水温	給湯量 ㍑／min		
	8℃（冬期）	18℃（春・秋期）	28℃（夏期）
40℃	約21.0	※（約30.5）	※（約55.5）
48℃	約17.0	約22.5	※（約34.0）
60℃	約13.0	約16.0	約21.0

＜OTQ-G305WFF＞

給湯温度＼水温	給湯量 ㍑／min		
	8℃（冬期）	18℃（春・秋期）	28℃（夏期）
40℃	約16.4	※（約23.9）	※（約43.8）
48℃	約13.1	約17.5	※（約26.3）
60℃	約10.1	約12.5	約16.4

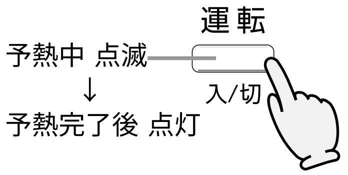
初めてご使用になるときなどは、送油経路に空気が入っていて点火せずリモコンに＜110＞＜120＞＜290＞を表示することがあります。このときは、一度給湯栓を閉め、しばらく待ったあと、運転スイッチを「切・入」してから給湯栓を開ける操作を、２〜３回繰り返してください。

○：女性の声でお知らせ

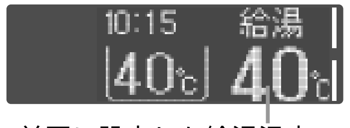
ここでは浴室リモコンでご説明します

＜運転スイッチ「切」のとき＞

1 運転スイッチを「入」にする（予熱開始）



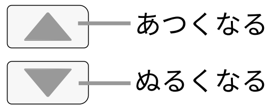
※予熱開始時に声でお知らせ
“予熱します”
※予熱が完了するとチャイムと声でお知らせ
“使用できます”



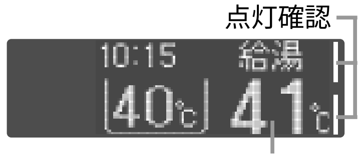
前回に設定した給湯温度
（例：40℃）

＜一度設定すると記憶します＞

2 選択スイッチで給湯温度を調節する（変更しないときは温度を確認する）



点灯確認



変更した給湯温度

3 給湯栓を開けてお湯を出す

燃焼中 点灯
お湯を止めると 消灯

お湯の温度の目安

（℃・目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。）

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60
食器洗いなど				シャワー、給湯など					給湯など					高温

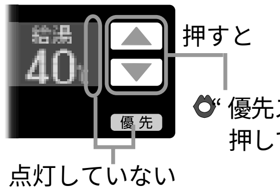
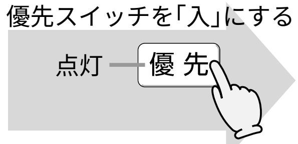
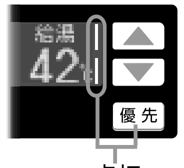
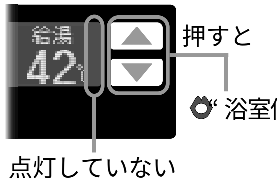
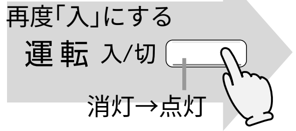
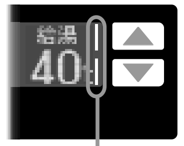
※初期設定（工場出荷時）＝40℃

サーモ付混合水栓の場合は、リモコンのお湯の温度設定をご希望の温度より約10℃高く設定すると、ちょうどよくなります。
※OTQ-G305WFFは、32℃,35℃の設定はできません。

●低温（食器洗いなど）に設定した場合、水温が高いとその温度にならないことがあります。

お湯の温度の調節ができない場合は、以下の操作をしてください —— *優先切替*

※設定温度は例です。

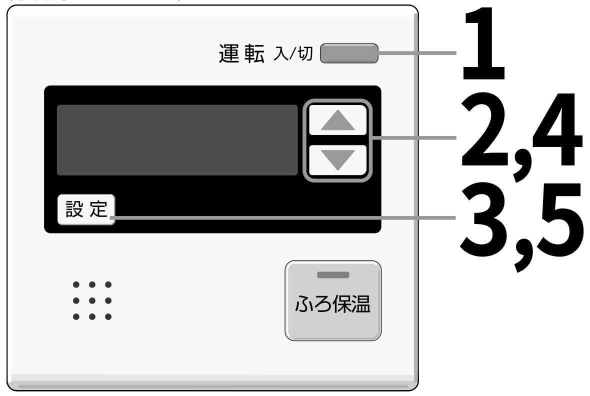
	湯温調節できない状態 →	湯温調節するには（優先切替） →	湯温調節できる状態
浴室リモコン	 “優先スイッチを押してください”	優先スイッチを「入」にする 	
台所リモコン	 “浴室優先です”	運転スイッチを一度「切」にし、再度「入」にする  ※ふろ運転中にこの操作をするとふろ運転が停止します。	

使いかた
おふろのお湯はりをする（お湯はりメロディ）

ここでは浴室リモコンでご説明します

（浴室リモコン）

（台所リモコン）



浴そうにお湯をはるとき、お湯の量を設定しておくと、その量になったときにリモコンのお湯はりメロディが鳴ってお知らせします。
（お湯は自動的には止まりません）

やけど予防のために

お湯はりは、優先側のリモコンの給湯温度でおこないます。必ず優先側の給湯温度を確認してください。

- ●お湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、設定したお湯はり温度のお湯が出ます。
- ●お湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、使用した分だけお湯はり量が少なくなります。
- ●前日などの残り湯（水）があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。
- ●残り湯（水）がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴そうに残っているお湯（水）の量だけ、設定したお湯はりの量より多くなります。
- ●お湯はり中に、台所リモコンで優先を切り替えるため運転スイッチをいったん「切」にし再度「入」にした場合、設定した湯量でお湯はりメロディは鳴りません。

お湯はり温度の目安

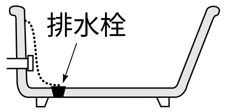
（℃：目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。）

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう				あつめ				

※初期設定（工場出荷時）＝40℃

運転前の準備

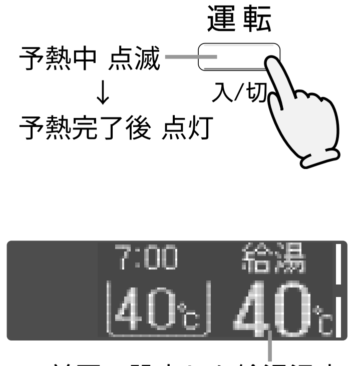
1．浴そうの排水栓を閉める。



2．浴そうの循環アダプターに、フィルターが付いていることを確かめる。
3．浴そうのふたをする。
（お湯はり部分は開ける）

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする

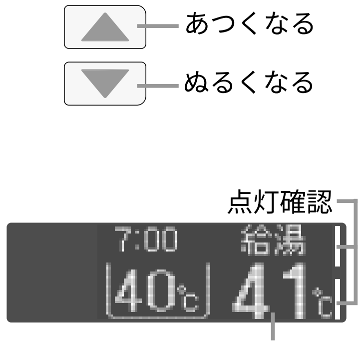


前回に設定した給湯温度
（例：40℃）

- ・予熱中（運転スイッチ点滅中）はお湯が出ませんので、お湯はりする時間帯はできるだけ運転スイッチを「入」にしておくと、すぐにお湯はりできます。
- ・予熱中（運転スイッチ点滅中）でもお湯はり温度とお湯はり湯量の設定はできます。

<一度設定すると記憶します>

2 選択スイッチでお湯はり温度を調節する
（変更しないときは温度を確認する）



変更した給湯温度
（＝お湯はり温度）

3 設定スイッチを押してバー表示を「ふろ湯量」の位置にする

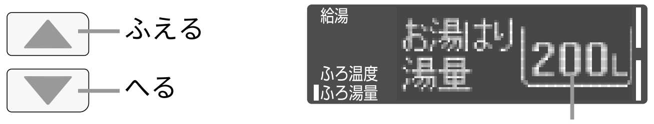
設定スイッチを押すごとに順にバー表示が移動します

バー表示＝「ふろ湯量」
（台所リモコン＝「湯量」）

お湯はり湯量（例：180ℓ）

<一度設定すると記憶します>

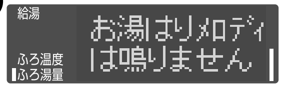
4 選択スイッチで お湯はり湯量を調節する



変更したお湯はり湯量（例：200ℓ）

40〜260（20ℓきざみ）・300・350・400の値と、お湯はりメロディなしの設定ができます。（目安の量）

※サーモ付混合水栓の場合は、設定した湯量でお湯はりメロディが鳴らないことがあります。**（☞P43）**
※音量を「なし」に設定するとお湯はりメロディは鳴りません。**（☞P32）**



<メロディなし設定時の表示>

5 設定スイッチを押して給湯表示画面に戻す

最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、**4** の段階で変更したままで確定されます。

6 給湯栓を開けて お湯はり開始

7 お湯はりメロディが鳴ったら給湯栓を閉めて お湯はり終了

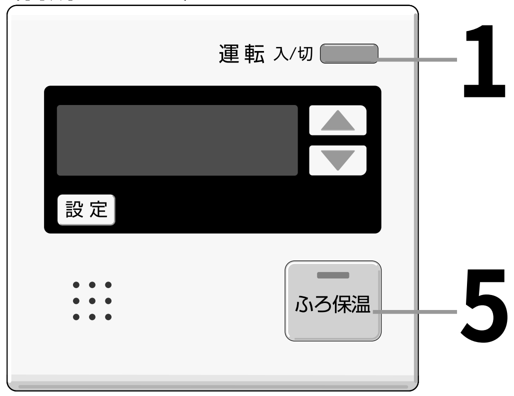
使いかた

おふろを沸かす/残り湯を沸かし直す

ここでは浴室リモコンでご説明します

(浴室リモコン)

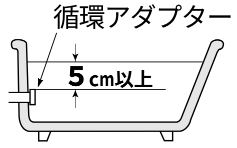
(台所リモコン)



※台所リモコンでは沸き上がり温度の設定はできません。
※自動でお湯はりはしません。

運転前の準備

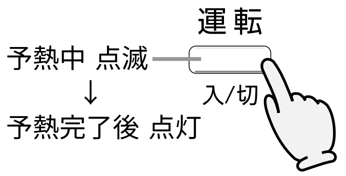
1．浴そうの循環アダプター上部より約5㎝以上お湯(または水)が入っているか確認する。



2．浴そうの循環アダプターに、フィルターが付いていることを確かめる。
3．浴そうのふたをする。

<運転スイッチ「切」のとき>

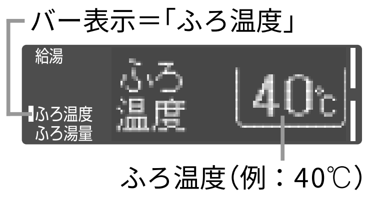
1 運転スイッチを「入」にする



- 予熱中(運転スイッチ点滅中)はおふろ沸かしできないので、お湯はりする時間帯はできるだけ運転スイッチを「入」にしておくと、すぐにお湯はりできます。
- 予熱中(運転スイッチ点滅中)でもふろ保温スイッチを受け付けますが、すぐにはおふろ沸かしを開始しません。
予熱完了(運転スイッチ点灯)するとおふろ沸かしを開始します。

2 設定スイッチを押してバー表示を「ふろ温度」の位置にする

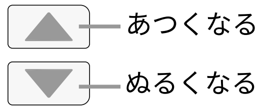
設定スイッチを押すごとに順にバー表示が移動します



<一度設定すると記憶します>

3 選択スイッチで沸き上がり温度を調節する

(変更しないときは温度を確認する)

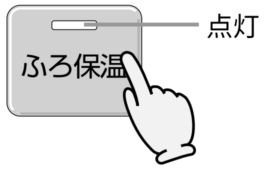


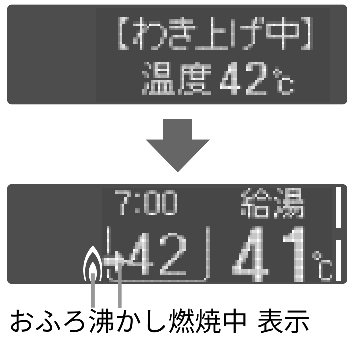
変更した沸き上がり温度

4 設定スイッチで確定する

最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、**3** の段階で変更したままで確定されます。

5 ふろ保温スイッチを「入」にする





おふろ沸かし燃焼中 表示

沸き上がり

メロディでお知らせ
＋
“おふろが沸きました”

ふろ保温スイッチを押してから約4時間、保温を続けます。
※保温時間は変更できます。
(☞P32)

保温燃焼中 表示

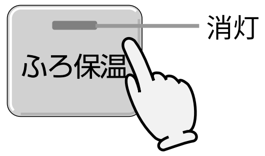
沸き上がり温度の目安 (℃：目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう				あつめ				

※初期設定(工場出荷時)＝40℃

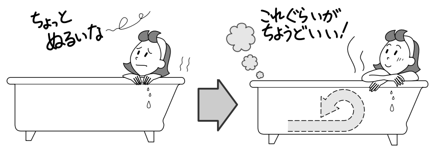
・途中でおふろ沸かしをやめたいとき　・沸き上がり後、保温の必要がないとき

ふろ保温スイッチを「切」にする。(ランプ消灯)



使いかた
おふろの追いだきをする

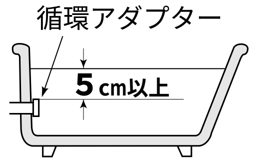
（浴室リモコン）



※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

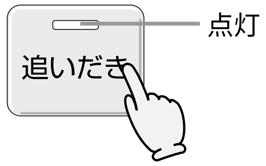
運転前の準備

浴そうの循環アダプター上部より約５㎝以上お湯（または水）が入っているか確認する。

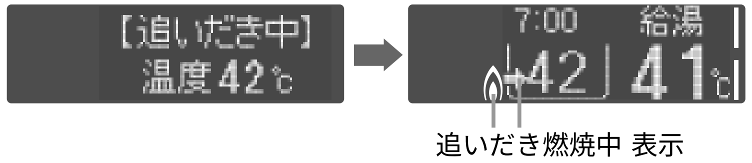


- 予熱中（運転スイッチ点滅中）は追いだきを開始しないので、追いだきを使用する時間帯はできるだけ運転スイッチを「入」にしておくと、すぐに追いだきできます。
- 予熱中（運転スイッチ点滅中）でも追いだきスイッチを受け付けますが、すぐには追いだきを開始しません。予熱完了（運転スイッチ点灯）すると追いだきを開始します。

1 追いだきスイッチを押す



お湯の温度がふろ設定温度より低い場合は設定温度まで、お湯の温度がふろ設定温度以上の場合はお湯の温度＋約１℃まで、追いだきします。（最高50℃まで）

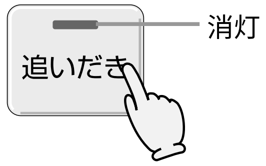


追いだきが終わると、自動的に止まります。（ランプ消灯）

※追いだき中に温度を変更したい場合は、「おふろを沸かす/残り湯を沸かし直す」（☞P23,24）の手順で変更してください。

追いだきを途中でやめたいとき

もう一度、追いだきスイッチを押す。（ランプ消灯）

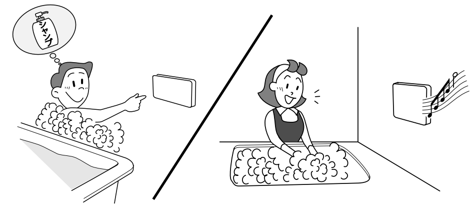


「追いだき」は、おふろ沸かし中は使用できません。

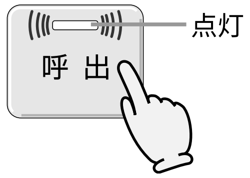
使いかた
浴室から台所リモコンのメロディを鳴らす

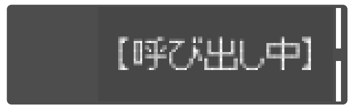
（浴室リモコン）

浴室にいるときに、何か必要な物があったり、気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼び出しスイッチで知らせることができます。
（インターホンではないので会話はできません）



呼び出しスイッチを 押す

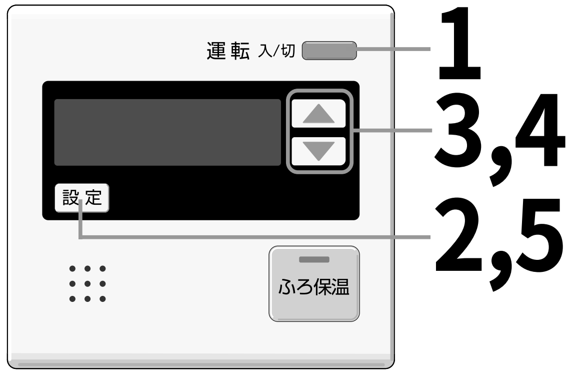




メロディで呼び出します。
押し続けると、手を離すまでメロディをくりかえします。

呼び出しスイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。

使いかた
ヒータ予熱の時間帯を予約する-1

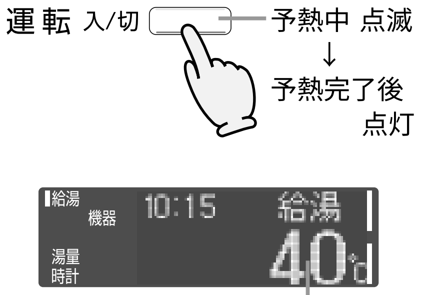


お好みの時間帯にヒータ予熱するように予約設定ができます。
一度予約設定すれば、予約解除するまで毎日設定した時間帯にヒータ予熱し、予熱時間帯が終わると自動的に運転「切」になります。（お湯やふろ運転を使用してから１時間（※）使用しない場合）
※時間は変更できます。（☞P31,32）

予約前の準備

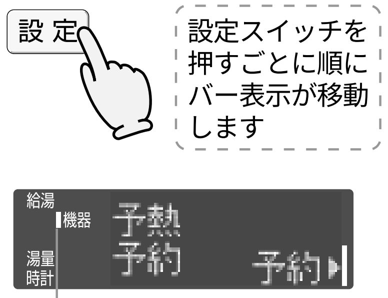
現在時刻が正しいかどうか確認する。
（時計を合わせる☞P18）

1 運転スイッチを「入」にする



前回に設定した温度(例：40℃)

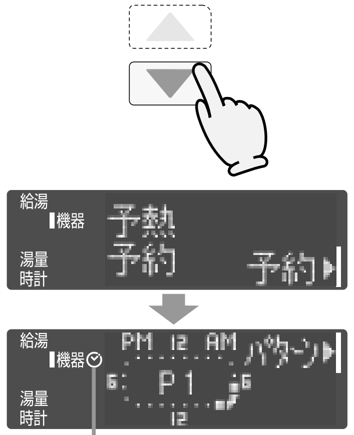
2 設定スイッチを押してバー表示を「機器」の位置にする



バー表示＝「機器」

＜一度設定すると記憶します＞

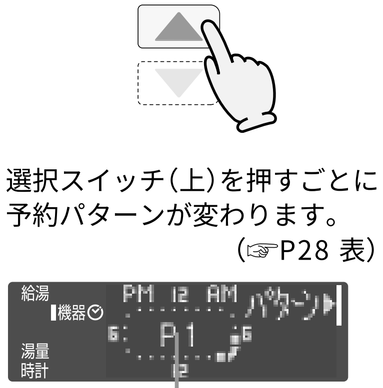
3 選択スイッチ(下)で「予約」を選択する



タイマー表示

4 選択スイッチ(上)でお好みのパターンを選択する

選択スイッチ(上)を押すごとに予約パターンが変わります。
（☞P28 表）



例：予約パターンP1
（AM6：00〜AM9：00）

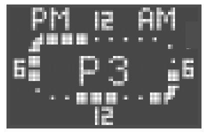
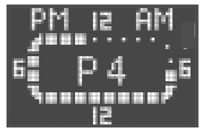
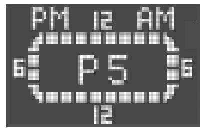
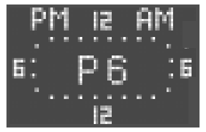
5 設定スイッチで給湯表示画面に戻す

現在時刻表示

予約パターン画面のまましばらく操作しないと、設定スイッチを押さなくてもその状態で予約設定されます。

予約パターンについて

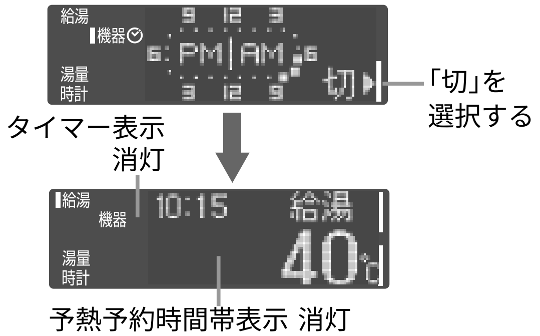
５つの決まったパターン（P1，P2，P3，P4，P5）と、自由にヒータ予熱の時間帯を設定できるP6があらかじめ登録されています。

	モーニングモード		モーニング&ナイトモード		アクティブモード	
予約パターン	P1		P2		P3	
予熱時間帯	AM6：00〜AM9：00		AM6：00〜AM9：00 PM5：00〜PM11：00		AM6：00〜AM9：00 AM11：00〜PM2：00 PM5：00〜PM11：00	
	デイタイムモード		連続モード		フリーモード	
予約パターン	P4		P5		P6	
予熱時間帯	AM6：00〜PM11：00		連　続		お好みの時間帯で自由に設定できます(☞P29,30)	

予熱予約を解除するときは

1．運転スイッチ「切」の場合は「入」にする。
2．設定スイッチで予約中画面にし、選択スイッチ（下）で予約「切」にする。

＜予約中画面＞



※予約を解除しても、設定した予約パターンは記憶しています。

予約パターンを変更するときは

予約中に予約パターンを他のパターンに変更するときは、一度予約を解除にしてから、再度**1〜5**の要領で設定し直してください。

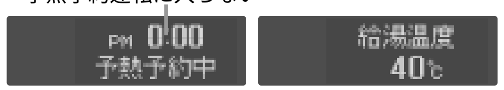
予約中のスクロール表示について

● 運転「入」時は、「現在時刻 ＋ 予熱予約中」と「給湯温度」の文字が交互に画面を流れて、予熱予約中をお知らせします。

● 運転「切」時は、「予熱予約中」の文字が画面を流れて、予熱予約中をお知らせします。

● 停電した場合、設定した予約パターンは記憶していますが、現在時刻が「0：00」に戻ります。
停電復帰後、現在時刻「0：00」のままだと予熱予約運転に入らないため、停電後はかならず現在時刻を合わせてください。

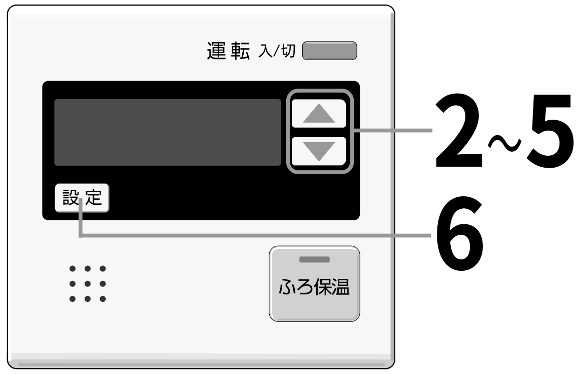
0：00だと
予熱予約運転に入らない



※表示の節電「する」にした場合はなにも表示しません。（☞P32）

ヒータ予熱の時間帯表示およびスクロール中の「予熱予約中」表示は、台所リモコンのみで表示します。

使いかた
ヒータ予熱の時間帯を予約する-2

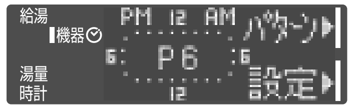


【予約パターンＰ６での予熱時間帯の設定のしかた】
自由に予熱時間帯を設定できます。

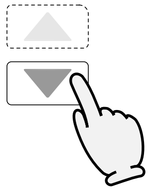
朝６時～８時と夜６時～10時に予熱するよう 予約する場合で説明します

1 予熱予約画面で 予約パターン P6 を選択する

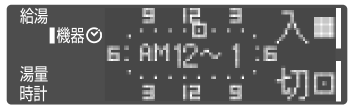
①P27「予約前の準備」を確認する。
②P27～28の操作手順**1**～**4**の要領で予熱予約画面にし、予約パターン P6 を選択する。



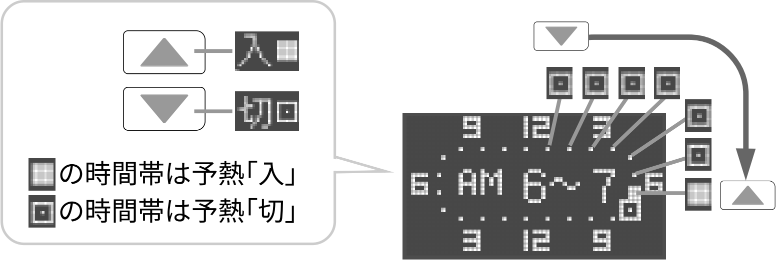
2 選択スイッチ(下)で「設定」を選択する



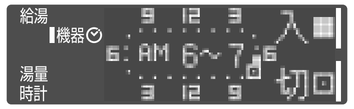
予約時間帯の入力画面になります。



3 選択スイッチ(下＝切)を押し進めて行き AM6～7で選択スイッチ(上＝入)を押す

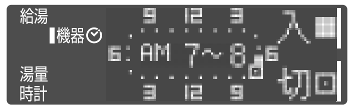


AM 6～7 が予熱「入」の設定になります。

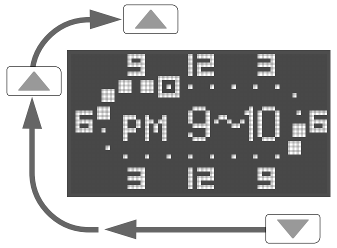


4 続けてAM7～8で選択スイッチ(上＝入)を押す

AM 7～8 も予熱「入」の設定になります。

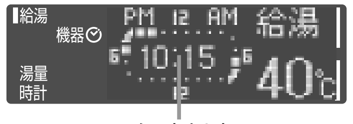


5 3と同様に、選択スイッチ(下＝切)を押し進め、PM6～7，PM7～8，PM8～9，PM9～10で選択スイッチ(上＝入)を押す



さらにPM 6～7，PM 7～8，PM 8～9，PM 9～10が予熱「入」の設定になります。

6 設定スイッチで 給湯表示画面に戻す

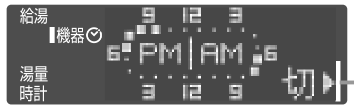


現在時刻表示

予熱予約を解除するときは

1．運転スイッチ「切」の場合は「入」にする。
2．設定スイッチで予約中画面にし、選択スイッチ(下)で予約「切」にする。(☞P28参照)

＜予約中画面＞



「切」を選択する

※予約を解除しても、設定した予約パターンは記憶しています。

予約設定時間帯を変更するときは

予約中に予約パターンＰ６の設定時間帯を変更するときは、一度予約を解除にしてから、再度**1**～**6**の要領で設定し直してください。

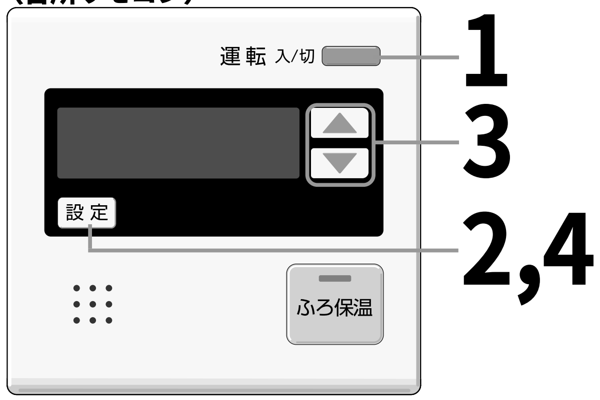
予約中のスクロール表示について
(☞P28)

使いかた

各設定を変更する（おふろの保温時間、リモコンの音量・予熱音声、リモコンの表示の節電、音声ガイド、運転の自動「切」時間、機器の水抜き）/連絡先を表示させる

（浴室リモコン）

（台所リモコン）

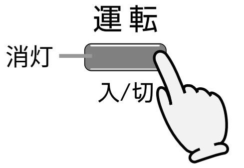


（1）次のような設定（変更）ができます	
おふろの保温時間	浴室リモコン・台所リモコンのどちらでも変更できます
リモコンの音量	それぞれのリモコンで設定してください
リモコンの音声ガイド	
運転の自動「切」時間	台所リモコンで変更できます
予熱音声	
リモコンの表示の節電	それぞれのリモコンで設定してください
機器の水抜き	浴室リモコン・台所リモコンのどちらでも設定できます
（2）リモコンに連絡先（電話番号）を表示できます	

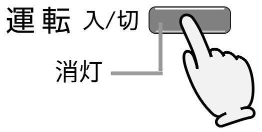
1 運転「切」にする

運転「切」の状態でのみ、各設定の変更ができます。

浴室リモコン



台所リモコン

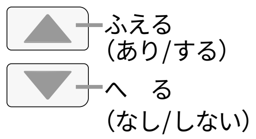


2 設定スイッチを押す

押すごとにそれぞれの設定に切り替わります。

☞次ページ 2

3 選択スイッチで変更する



それぞれの変更をします。

☞次ページ 3

4 設定が完了すれば設定スイッチを押す

続けて他の設定を変更する場合は、再度**2**～**4**の手順で変更してください。

そのまま機器を使用する場合は、運転スイッチを押して「入」にしてください。

使用しない場合は、そのまま20秒放置しておくと運転「切」の状態に戻ります。

[　] ＝初期設定（工場出荷時）（表中の太字）

	2 設定スイッチを押す（押すごとに切り替わります）	3 選択スイッチで変更する
ふろ保温時間	ふろ保温 4時間 (0~9)	（単位：時間） 0 ｜ 1 ｜ 2 ｜ 3 ｜ **4** ｜ 5 ｜ 6 ｜ 7 ｜ 8 ｜ 9 （0）保温なし
音量	音量 中	なし ｜ 小 ｜ **中** ｜ 大 ※「なし」の設定でも「呼び出し音」（☞**P26**）は鳴ります。
音声ガイド	音声ガイド あり なし	**あり** 操作音と声でお知らせします なし 操作音のみでお知らせします **※操作音と声の両方とも鳴らさないようにするには、音量を「なし」に設定してください。** （音量「なし」の設定でも「呼び出し音」（☞**P26**）は鳴ります。）
運転の自動「切」時間	OFF時間 1時間 (0.5~6)	（単位：時間） 0.5 ｜ **1** ｜ 2 ｜ 3 ｜ 4 ｜ 5 ｜ 6
予熱音声	予熱音声 あり なし	**あり** 操作音と声でお知らせします なし 操作音のみでお知らせします
表示の節電	表示の節電 する しない	する 表示の節電をします（☞**P2**） **しない** 表示の節電をせず、スクロール表示をします（☞**P2**）
機器の水抜き	機器の水抜き する しない	機器の水抜きをするときに「する」を選択してください。（☞**P36**）
連絡先電話番号表示	連絡先☎ 電話番号表示	故障のときなど、サービスを依頼される場合に、この方法でご覧ください。 ※連絡先電話番号が入力されていない場合があります。その場合はこの画面にはなりません。

使いかた
停電後の使用方法

- 機器の使用中に停電した場合は、通電後、もう一度運転スイッチを「切・入」して、お使いください。
- 機器は電気で作動しますので、停電中は使用できません。
- 給湯温度、ふろ温度表示、ふろ湯量表示、時計表示など、お買い上げ時の設定に変わる場合がありますので確認してください。

使いかた
使用上の注意

⚠ **注意**
高温部接触禁止
燃焼中や消火直後は、排気口・給排気筒トップやその周辺に手などふれないよう注意してください。
やけどのおそれがあります。

- 機器や配管内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いず雑用水としてお使いください。
- P３～８「特に注意していただきたいこと」をよくお読みになり、正しくお使いください。

使いかた
長期間使用しないとき

- 長期間使用しないときは、P36「長期間使用しないとき」にしたがって、水抜きをおこなってください。

使いかた
洗濯注湯ユニット(別売品)をご使用のとき

- 洗濯注湯ユニット(別売品)の「残り湯洗い」コースで、浴そうの残り湯を洗濯機に注湯しているときに台所などでお湯を使用すると、自動的に「水洗い」コースに切り替わりますので、ご注意ください。
- 「残り湯洗い」コースをお使いの際は、お湯の出始めに約１㍑程度の高温のお湯が出る場合がありますので、ウール等、デリケートな衣類を洗濯する場合は、ご注意ください。
- 「湯洗い」コースをお使いの際は、**給湯機の予熱が完了(給湯機側リモコンの運転スイッチが点灯)していることを必ず確認してください。**
  予熱中(給湯機側リモコンの運転スイッチが点滅)は湯洗いができない場合があります。

使いかた
即湯ユニット(別売品)をご使用のとき

- 即湯「入・切」の設定は、設定スイッチで即湯運転画面にして設定してください。
  (予熱予約画面(☞P27の手順**2**)の次に即湯運転画面を表示します)
- 即湯予約はできませんが、ヒータ予熱の予約設定をしている場合は、ヒータ予熱の開始と連動して即湯運転も始めます。

＜即湯運転画面＞

使いかた

冬期の凍結による破損予防

お願い

＊暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。
＊凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

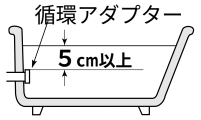
機器内は凍結予防ヒーターで自動的に凍結予防します

■電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かない。
（運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。）

＊給水・給湯配管や、給水元栓およびふろ配管などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒータを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。（わからないときは、販売店に確認してください。）
＊水がないとポンプが空運転し、機器から大きな音が発生する場合があります。

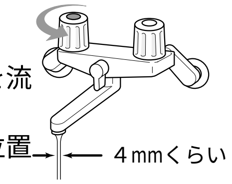
■ふろ配管を凍結予防するためには、浴そうの水を循環アダプターより5㎝以上ある状態にする。

ポンプが自動的に浴そうの水を循環させて、凍結を予防します。



■冷え込みが厳しいとき※は、さらに以下の処置をする。
（※外気温が極端に低くなる日（-15℃以下）や、それ以上の気温でも風のある日）

機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。



1．運転スイッチを「切」にする。
2．送油バルブを閉める。
3．おふろの給湯栓を開いて、少量の水（1分間に約400㏄･･･太さ約4㎜）を流したままにしておく。
※サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。
4．流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する。
※結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態で給湯栓から水を出さないようにお願いしていますが（☞P８）、凍結予防の処置の場合は問題ありません。

＊サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。
＊この処置をしても凍結するおそれのある場合には、次ページの要領で水抜きをおこなってください。

凍結して水が出ないとき

1．給水元栓を閉める。
2．運転スイッチを「切」にし、給湯栓を開ける。
3．ときどき給水元栓を開け、水が出ることを確認する。
4．水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ、P16「運転開始前の準備と確認」の手順にしたがって使用してください。

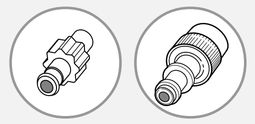
凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。

長期間使用しないときは、水抜きをしてください

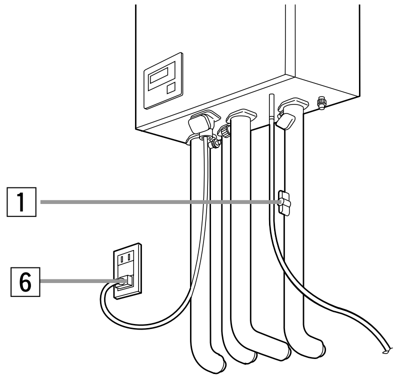
以下の要領で水抜きによる凍結予防をおこなってください。（イラストを参照してください）

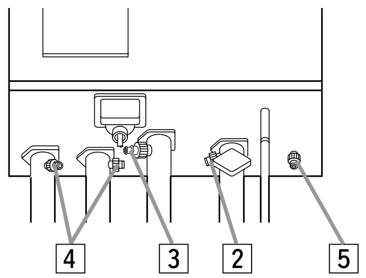
やけど予防のために
お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。

1．浴そうの水を排水する。
2．送油バルブを閉める。
3．給水元栓1を閉める。
4．すべての給湯栓を全開にする。
5．（1）運転スイッチを「入」にし、運転スイッチが点滅から点灯になったことを確認する。
（2）追いだきスイッチを「入」にし、浴そうの循環アダプターより排水することを確認し、5分程度そのままにする。
※リモコンに故障表示 632 を表示する場合がありますが異常ではありません。
（3）追いだきスイッチを「切」にする。
6．運転スイッチを「切」にし、P31,32の要領で設定スイッチを押していって「機器の水抜き」を選択し、 選択スイッチ（上）で「する」を選択する。
・リモコンに［水抜き中］の表示が出ます。
・約２分30秒後にお知らせ音が鳴ります。
※運転スイッチを「入」にすると水抜きを中断します。
※水抜きの途中で電源コンセントを抜かないでください。
7．水抜き栓2 3、ふろ水抜き栓4、ポンプ水抜き栓5を左に回して開ける。
8．電源プラグ6を抜く。
9．完全に水が出なくなったら水抜きは終了です。
10．次回使用するまでそのままにしておく。



●各水抜き栓・ポンプ水抜き栓などは、上のような形をしています。
●配管の保温材に隠れて見えにくいことがあります。
●配管によっては、排水栓をゆるめても水が抜けない場合があります。その場合はいったん排水栓を取りはずしてください。





OTQ-G405WFFで説明していますが他の機種も同様です。

再使用のとき

P16「運転開始前の準備と確認」の手順にしたがって使用してください。

安全装置

装置名・説明	作動後の処置
対震自動消火装置 火災の危険を防ぐため、自動消火する装置です。 ●地震のとき（震度約５） ●機器に強い振動、衝撃が与えられたとき ●その他	設置場所へ行き、周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れなど異常がないことを確認してください。 その後、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして、表示が出なければ正常です。
停電安全装置 停電したとき異常燃焼を防ぐため、自動消火する装置です。 ●停電のとき ●電源プラグが抜かれたとき　●その他	通電後はP33「停電後の使用方法」にしたがってください。
燃焼制御装置 炎が異常になったり消えたりすると、運転を自動停止する装置です。 ●灯油切れのとき ●点火ミス、異常燃焼のとき　●その他	＜灯油切れが原因の場合＞ 給油した後、再び操作をしてください。 ＜灯油切れが原因でない場合＞ 販売店または、弊社窓口に修理依頼してください。
電動機の過負荷保護装置（ふろ循環ポンプ） コイルが異常に過熱したとき、ポンプの運転を自動停止します。 ●異物（髪の毛やゴミなど）が機器内に詰まったとき	販売店または、弊社窓口に修理依頼してください。
空だき防止装置（ふろ） 機器内に水がないと燃焼しない装置です。 ●異物（髪の毛やゴミなど）が機器内に詰まったとき	販売店または、弊社窓口に修理依頼してください。

その他の装置

装置名・説明	作動後の処置
漏電安全装置 機器内で漏電したとき、漏電をストップする機能です。 ●機器内での漏電　●その他	電源プラグをいったん抜き、再度差し込んでください。
温度ヒューズ 異常燃焼や機器内の温度が異常に上昇したとき、運転を自動停止する装置です。 ●異常燃焼のとき　●熱交換器からの熱気漏れ	販売店または、弊社窓口に修理依頼してください。
凍結予防ヒータ 外気温が下がってくると自動的に機器内を保温する装置です。	

日常の点検・手入れのしかた-1

やけど予防のために

お湯の使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてから作業してください。

点　検（月１回程度）

チェック　⚠注意　**排気口・トップ周辺の確認**

排気口・給排気筒トップのすぐ前に物を置かないでください。
異常燃焼や火災の原因になります。

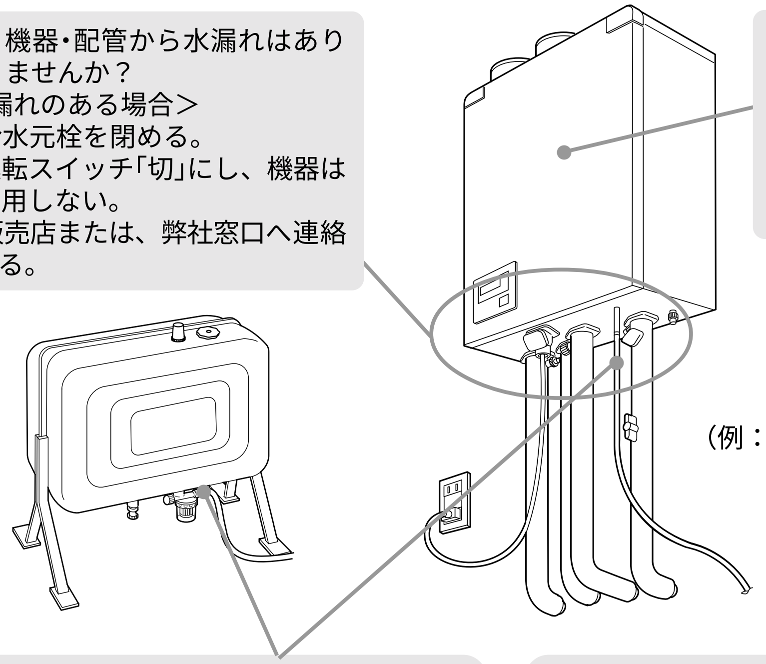
チェック　⚠警告　**外れ危険**

【屋内設置形の場合】
給排気筒（管・ホース）が正しく接続されているか、穴があいていないか点検してください。
外れたり穴があいていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて危険です。

チェック　機器・配管から水漏れはありませんか？

＜水漏れのある場合＞
1．給水元栓を閉める。
2．運転スイッチ「切」にし、機器は使用しない。
3．販売店または、弊社窓口へ連絡する。

チェック
●運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
●機器の外観に、異常な変色やキズはありませんか？



（例：OTQ-G405WFF）

チェック　⚠注意　**油漏れ注意**

オイルタンクや送油管の接合部などから、油漏れがないことを確かめてください。
油漏れにより、火災の原因になります。

＜油漏れのある場合＞
1．送油バルブを閉める。
2．運転スイッチ「切」にし、機器は使用しない。
3．販売店または、弊社窓口へ連絡する。

チェック　⚠注意　**可燃物禁止**

機器の上や周囲に燃えやすい物（紙、洗濯物、揮発油、スプレー缶など）を置かないでください。
火災のおそれがあります。

日常の点検・手入れのしかた-2

お手入れ（こまめに掃除）

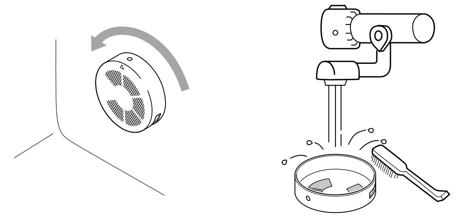
循環アダプターのフィルター

フィルターが詰まると、おふろの温度がご希望の温度にならないおそれがありますので、以下の方法でこまめに掃除してください。

※お手入れ前に必ず運転スイッチを「切」にしてください。「入」の状態でお手入れをしているときにお湯を使用すると、循環アダプターよりあついお湯が出たり、まわりが高温になる場合があります。（やけど予防のため）

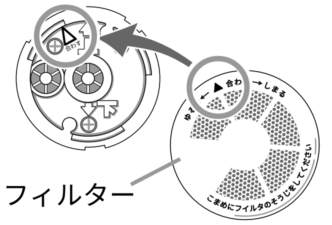
1 浴そうの循環アダプターのフィルターをはずし、掃除する

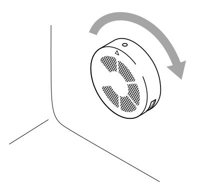
①左にまわしてはずし、　②歯ブラシなどで水洗いする



2 元どおりに取り付ける

①△同士を合わせてはめ込み、　②右に止まるまで回して固定する。





- ●特に、沸かし直しをしたときはフィルターが詰まりやすいので、こまめに掃除してください。
- ●循環アダプターのフィルターを外したまま、または正常に取り付けられていない状態で使用すると機器が故障することがありますので、必ず正常に取り付けた状態で使用してください。

お手入れ（月１回程度）-1

機器本体

機器の外装の汚れは、ぬれた布で落としたあと、充分水気を拭きとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

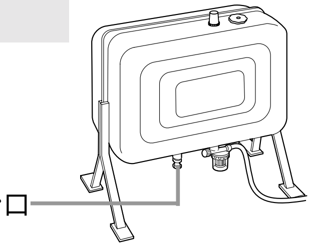
リモコン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布で拭いてください。

- ●リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使用しないでください。変形する場合があります。
- ●浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。（台所リモコン・増設リモコンは防水タイプではありません。）

オイルタンク

オイルタンク下部にあるドレン口のバルブを開けて排水してください。
排水後はドレン口のバルブを閉めてください。



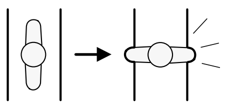
お手入れ（月１回程度）-2

給水口フィルター

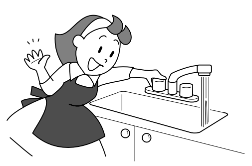
給水口フィルターにゴミ等が詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、次の方法で掃除をしてください。

※お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、運転スイッチを「切」にして機器が冷えてからおこなってください。（やけど予防のため）

1 給水元栓を閉める

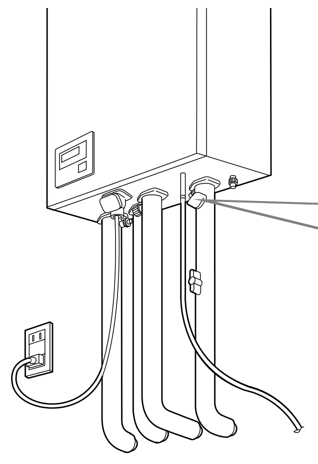


2 すべての給湯栓を開ける

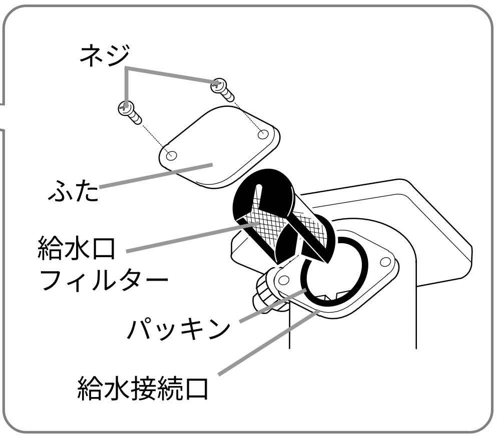


3 ふたのネジ（２ヶ所）をドライバーではずし、給水口フィルターを取り出す

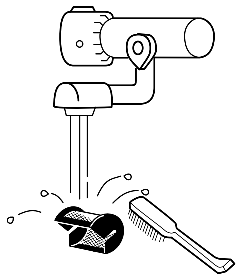
このとき水（湯）が出るので気をつけてください。



屋外設置形の給水口フィルターの位置 ☞ P9

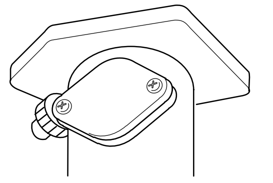


4 給水口フィルターを掃除する



歯ブラシなどで水洗いする

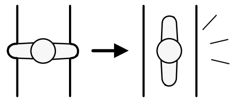
5 元どおりに給水口フィルターを取り付け、ふたのネジを締める



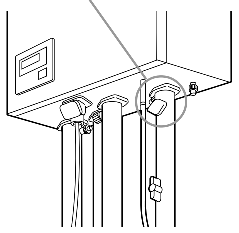
※取り付け時、パッキンが脱落していないかよく注意して取り付けてください。

6 すべての給湯栓を閉める

7 給水元栓を開け、水漏れがないことを確認する



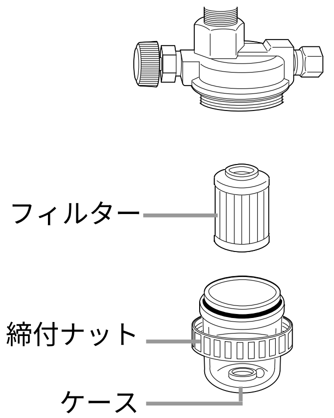
まわりを確認



日常の点検・手入れのしかた-3

お手入れ（月１回程度）-3

オイルストレーナ



オイルストレーナのケースにゴミや水がたまった場合、フィルターの掃除をしてください。わからないときは販売店にご相談ください。

(1)オイルタンクの送油バルブを閉じる。
(2)オイルストレーナの下に、送油経路内の灯油を受ける容器を置く。
(3)締め付けナットを回してケースを外す。
(4)フィルターを下に引き外し、灯油で洗う。
（汚れのひどいときはフィルターを交換してください。）
(5)元どおり取り付ける。
(6)油漏れのないことを確認する。

お手入れ（年１回程度）

ゴム製送油管

ゴム製送油管は、年に１回程度は点検して、ひび割れが生じていないか確かめてください。
交換の目安は、3年に１回です。

定期点検（有料）

長期間ご使用になると、機器の点検が必要です。１年に１回程度、販売店または、修理資格者［（財）日本石油燃焼機器保守協会（TEL 03-3499-2928）でおこなう技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など］のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

故障・異常の見分けかたと処置方法-1

「温度」に関すること

給湯栓を開いてもお湯が出ない	●運転スイッチは「入」になっていますか？ ●オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていますか？ ●断水していませんか？ ●給湯栓は充分開いていますか？ ●凍結していませんか？ ●灯油がなくなっていませんか？ ☞灯油を補給し、運転スイッチを「切」「入」する。 ●安全装置の作動。（☞P37） ●ヒータ予熱中（運転スイッチ点滅中）は、お湯は出ません。（☞P19）
給湯栓を開いてもすぐお湯にならない	●機器から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	●オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていますか？ ●給湯温度設定は適切ですか？（☞P19,20） ●夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
高温のお湯が出ない	●オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていますか？ ●給湯温度設定は適切ですか？（☞P19,20）
給湯栓を絞りすぎて水になった	●給湯栓から流れるお湯の量が１分間に約２リットル以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
おふろのお湯がぬるい おふろのお湯があつい	●給湯温度（お湯はり温度）・沸き上がり温度の設定は適切ですか？（☞P21～24） ●循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていませんか？（☞P39）
追いだき時、循環アダプターから出るお湯の温度が変化する	●しくみ上、断続的に燃焼と消火を繰り返すことがあります。故障ではありません。
給湯温度の調節ができない	●操作しているリモコンに優先切替していますか？（☞P20）

故障・異常の見分けかたと処置方法-2

「リモコン」に関すること

運転ランプが点灯しない	●停電していませんか？ ●電源プラグが差し込まれていますか？
時計表示が「0：00」になっている	●停電後、再通電すると表示画面の時計表示が「0：00」になることがありますので、再設定してください。（☞P18）
リモコンの画面表示がいつのまにか流れるように動いている	●機器を使用しないまま約10分たつと、画面の焼き付き防止のため、画面の状態が変わります。（スクロール表示☞P2） 再使用したり、スイッチを押すと、スクロール表示を解除します。
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	●表示節電「する」に設定した場合（☞P32）、機器を使用しないまま約10分たつと画面表示が消えます。（表示の節電☞P2） 使用したり、スイッチを押すと、表示の節電表示を解除します。
スイッチを押してもそのスイッチ動作をしない （例）運転スイッチを押して「切」にしたはずなのに切れていないなど・・・	<呼び出し・追いだき・ふろ保温スイッチ以外のスイッチの場合> ●表示の節電中やスクロール表示中にスイッチを押すと、その状態を解除し、もう1回押すとそのスイッチの機能がはたらきます。 運転「入・切」は、ランプの点灯・消灯で確認してください。
お湯の使用中や追いだき中などに燃焼表示（ ）が時々消える	●しくみ上、断続的に燃焼したり消火したりします。 故障ではありません。
運転スイッチが勝手に切れる	●節電のため、機器を使用しないまま約１時間たつと、運転スイッチを切る機能がついています。 （時間は変更できます☞P32）

「音」に関すること

設定量までお湯はりしても お湯はりメロディが鳴らない	●お湯はりメロディは、給湯機で燃焼したお湯が設定量連続して出ると鳴るしくみです。サーモ付混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるので、設定したお湯はり量より水の分だけ多いところでメロディが鳴ります。 ●音量を「なし」に設定していませんか？（☞P32） 音量「なし」の設定の場合、お湯はりメロディは鳴りません。 ●お湯はり中に、台所リモコンで優先を切り替えるため運転スイッチをいったん「切」にし再度「入」にした場合、設定した湯量ではお湯はりメロディは鳴りません。（☞P22）
運転を停止しても、しばらくの間ファンの回転音（ブ～ン）がする 運転スイッチを「入・切」したり、給湯栓を閉めたとき、給湯温度を変更したときなどに、モータが動く音（ウィン、ウィン）がする	●再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。
循環アダプターから「ボコ、ボコ」と空気の出る音がする	●おふろの配管などにたまった空気が出る音で、異常ではありません。

（つづく）

（つづき）

ポンプの回転音（ウーン）がする	●追いだき終了後、お湯をまぜるためにポンプがしばらく回ることがあります。 ●気温が下がると、凍結予防のため、ポンプで浴そうの水を循環させます。
お湯を出したとき、止めたときに「パキ、パキ」と音がする	●熱交換器が冷える音で異常ではありません。
運転中に時々「ビー」音がする	●灯油をくみ上げるために、くみ上げポンプが作動している音です。
運転中に時々「カチッ」音がする	●製品の機能上（しくみ）であり、異常ではありません。

その他

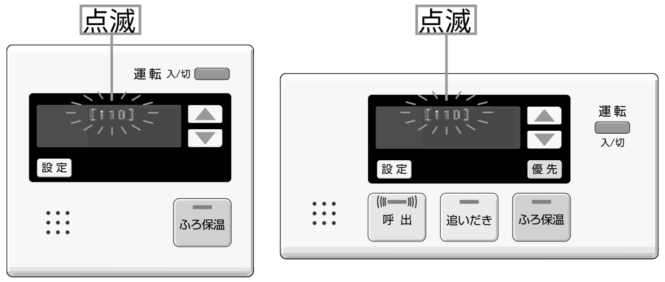
使用中に消火した	●オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていますか？ ●断水していませんか？ ●給湯栓は充分開いていますか？ ●灯油がなくなっていませんか？ ☞灯油を補給し、運転スイッチを「切」「入」する。 ●安全装置の作動。（☞P37）
追いだきができない	●浴そうの循環アダプター上部より５㎝以上お湯（または水）が入っていますか？ ●循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていませんか？（☞P39）
追いだきを始めると にごったお湯が出る	●追いだきを始めた直後、配管中の残り湯が若干混入します。特に入浴剤（にごり系）をご使用の場合には目立つ場合があります。
寒い日に排気口・給排気筒トップから白い煙が出る	●冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えるためです。
お湯が白く濁って見える	●これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違い、無害です。
機器の水抜き栓（過圧防止安全装置）からお湯（水）が少しの間、出ることがある	●機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、水抜き栓から水滴が落ちることがあります。
給湯栓から出るお湯の量が変化する	●お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があります。水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。
循環アダプターからあつい湯や湯気が出たり、まわりが高温になったりする	●お湯を使用すると、ふろ配管に残っている水が暖められ、湯や湯気になって出ることがあります。
水が青く見える 浴そうや洗面台が青く変色した	●水中に含まれるわずかな銅イオンが水中に溶け出して青色の化合物が生成され、水が青く見えたり、浴そうや洗面台が青く変色したりすることがありますが健康上問題ありません。 浴そうや洗面台はこまめに掃除することにより、発色しにくくなります。

故障・異常の見分けかたと処置方法-3

故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、時計表示部に故障表示が点滅します。
下表に応じた処置をしてください。

例：［110］を表示したとき、右図のような点滅をくりかえします。

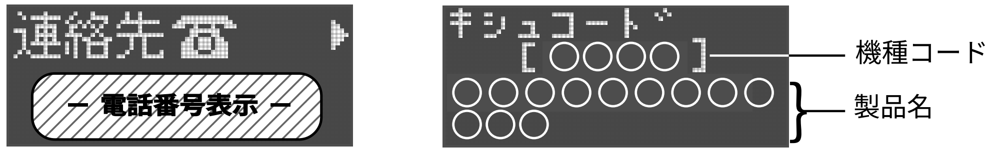


故障表示	原 因	処 置
011	給湯を連続60分以上運転したため	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。 ※地震による場合は機器の設置場所へ行き、周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れがないか確認してから操作してください。
012	追いだきを連続90分以上運転したため	
100	対震自動消火装置の作動	
110 120	●燃焼制御装置の非検知 ●灯油切れの可能性があります	①運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。 ②上記操作後も表示が出る場合は、オイルタンクの残量を確認し、減っていれば給油してください。その後、再度①の操作をしてください。
290	フロートスイッチの不具合	オイルタンクの残油量、送油バルブを確認してください。
632	追いだき運転のとき、浴そうのお湯(水)が足りないため	運転スイッチをいったん「切」にして再度「入」にし、浴そうのお湯(水)を循環アダプター上部より約５cm以上入れてから追いだき運転してください。(☞P25) ※上記処置をしてもなお表示が出る場合は、P16「4.ポンプの呼び水をする」にしたがって呼び水をしてください。
	ポンプ呼び水不足	
	循環アダプターのフィルター詰まり、またはフィルターが正常に取り付けられていないため	循環アダプターのフィルターが詰まってないか、フィルターが正常に取り付けられているか確認して、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
給油して下さい ※給油検知装置を付けている場合のみ表示が出ます ※運転「入・切」に関わらず出ます	オイルタンクへの給油お知らせ	オイルタンクへ給油して、表示が出なければ正常です。
		残油量が多いのに表示が出る・残油量が少ないのに表示が出ない場合は、給油検知装置の調整をしてください。(☞次ページ)

下記の場合は、販売店または、弊社窓口にご連絡ください
- 上記以外の表示（例：［661］など）が出るとき
- 上記の処置をしてもなお表示が繰り返し出るとき
- その他、わからないとき

左のような表示が出た場合は、［▲］スイッチを押していくことにより、連絡先電話番号を見ることができます

<次のような表示が出ます>



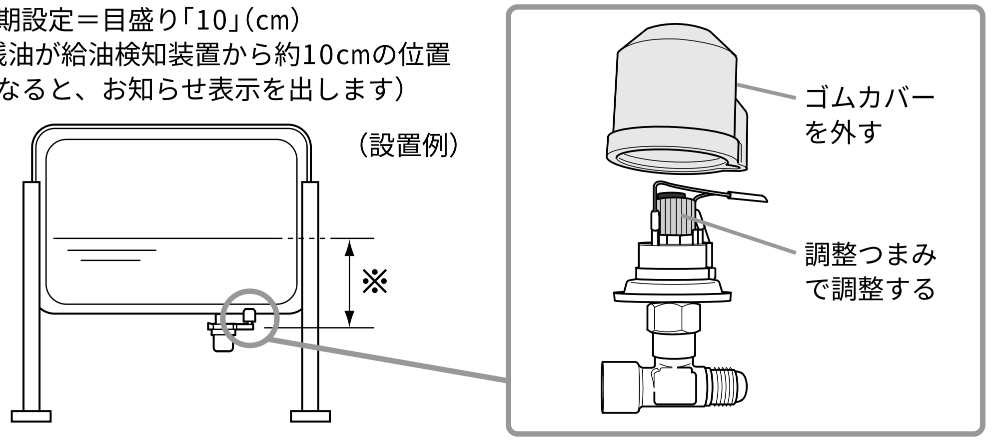
※連絡先電話番号が入力されていない場合があります。その場合、電話番号表示は出ません。

給油検知装置(別売品)の調整方法

オイルタンクの送油バルブ付近に給油検知装置(別売品)が付いています。
設定した残油量になると「給油して下さい」とリモコンでお知らせします。

※初期設定＝目盛り「10」(cm)
(残油が給油検知装置から約10cmの位置になると、お知らせ表示を出します)

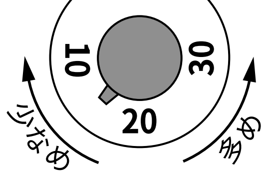
(設置例)



1．ゴムカバーを外し、調整つまみを回して調整してください。
2．調整後は確実にゴムカバーを取り付けてください。

【残油量が多いのに お知らせ表示が出た場合】
目盛を「10」側に回してください。
(残油量が少なめで表示が出ます)

【残油量が少ないのに お知らせ表示が出ない場合】
目盛を「30」側に回してください。
(残油量が多めで表示が出ます)



●送油配管内部に空気が入っていると、お知らせ表示を出す位置がばらつくことがあります。
●給油検知装置は傾いて取り付けられている場合がありますが、性能上、問題ありません。

部品交換のしかた

部品の交換は必ず純正部品を使用してください。また故障やおわかりにならないことがありましたら販売店に相談していただき、修理資格者［(財)日本石油燃焼機器保守協会（TEL 03-3499-2928）でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など］の修理をお受けください。

仕様

型式の呼び		OTQ-G405W(OTQ-G405AW)	OTQ-G405WS(OTQ-G405AW)
製品名		OTQ-G405W OTQ-G405WBL	OTQ-G405WS OTQ-G405WSBL
種類	燃焼方式	気化式	
	給排気方式	屋外用開放形	
	給水方式	水道直結式	
	加熱形態	瞬間形	
	加熱方式	２缶２水路式（１バーナ）	
	循環方式	強制循環式	
点火方式		高圧放電式	
使用燃料		灯油(JIS１号灯油)	
燃料消費量	給湯側	5.4L/h	
	ふろ側	1.8L/h	
出力	ふろ側	15.0kW	
湯沸効率	ふろ側	80.0%	
連続給湯効率	給湯側	84.0%	
連続給湯出力	給湯側	46.5kW	
熱交換器容量	給湯側	0.8L	
	ふろ側	0.5L	
使用圧力		1MPa以下	
伝熱面積	給湯側	1.03㎡	
	ふろ側	1.03㎡	
外形寸法		高さ690㎜　幅470㎜　奥行210㎜	
質量		32㎏	
電源電圧及び周波数		AC 100Ｖ　50／60㎐	
定格消費電力	給湯使用	点火時：880W/880W　燃焼時：350W/350W	
	給湯･ふろ同時使用	点火時：940W/970W　燃焼時：460W/490W	
排気温度		260℃以下	
騒音レベル		48dB(Ａレンジ)	
待ち時間		約２分30秒	
循環管取付口径		R1/2	
基準浴槽		実水量180ℓ	
電流ヒューズ		20Ａ	
温度ヒューズ		バーナ温度ヒューズ：184℃　缶体温度ヒューズ：184℃	
安全装置		対震自動消火装置、停電安全装置、燃焼制御装置、 空だき防止装置(ふろ)、電動機の過負荷保護装置	
その他の装置		漏電安全装置、温度ヒューズ、凍結予防ヒータ、 バーナ温度検知装置、油面検知	
付属品		送油管、ゴムパッキン、ふろ継手パイプ、フレアニップル 浴室リモコン(RC-7503S)及び取付部材 台所リモコン(RC-7503M)及び取付部材	

型式の呼び		OTQ-G405WFF	OTQ-G305WFF
製品名		OTQ-G405WFF OTQ-G405WFFBL OTQ-G405WFF-1BL	OTQ-G305WFF OTQ-G305WFFBL
種類	燃焼方式	気化式	
	給排気方式	屋内用密閉式強制給排気形	
	給水方式	水道直結式	
	加熱形態	瞬間形	
	加熱方式	２缶２水路式（１バーナ）	
	循環方式	強制循環式	
点火方式		高圧放電式	
使用燃料		灯油(JIS１号灯油)	
燃料消費量	給湯側	5.4L/h	4.2L/h
	ふろ側	1.8L/h	
出力	ふろ側	15.0kW	
湯沸効率	ふろ側	80.0%	
連続給湯効率	給湯側	84.0%	
連続給湯出力	給湯側	46.5kW	36.0kW
熱交換器容量	給湯側	0.8L	
	ふろ側	0.5L	
使用圧力		1MPa以下	
伝熱面積	給湯側	1.03㎡	
	ふろ側	1.03㎡	
外形寸法		高さ600㎜　幅470㎜　奥行210㎜	
質量		30.5㎏	
電源電圧及び周波数		AC 100Ｖ　50／60㎐	
定格消費電力	給湯使用	点火時：880W/880W　燃焼時：350W/350W	点火時：870W/870W　燃焼時：240W/240W
	給湯･ふろ同時使用	点火時：940W/970W　燃焼時：460W/490W	点火時：910W/940W　燃焼時：340W/370W
給排気筒の型式の呼び		FF-102A，FF-103W，FF-105	
給排気筒の呼び径		D80	
給排気筒の壁貫通部の孔径		120mm	
排気温度		260℃以下	
騒音レベル		46dB(Ａレンジ)	40dB(Ａレンジ)
待ち時間		約２分30秒	
循環管取付口径		R1/2	
基準浴槽		実水量180ℓ	
電流ヒューズ		20Ａ	
温度ヒューズ		バーナ温度ヒューズ：184℃　缶体温度ヒューズ：184℃	
安全装置		対震自動消火装置、停電安全装置、燃焼制御装置、 空だき防止装置(ふろ)、電動機の過負荷保護装置	
その他の装置		漏電安全装置、温度ヒューズ、凍結予防ヒータ、 バーナ温度検知装置、油面検知	
付属品		ゴム製送油管、ゴム製送油管締付バンド、袋ナット、ゴムパッキン、 タケノコパイプ、タケノコパイプセット、ふろ継手パイプ、 操作部カバー、浴室リモコン(RC-7503S)及び取付部材	

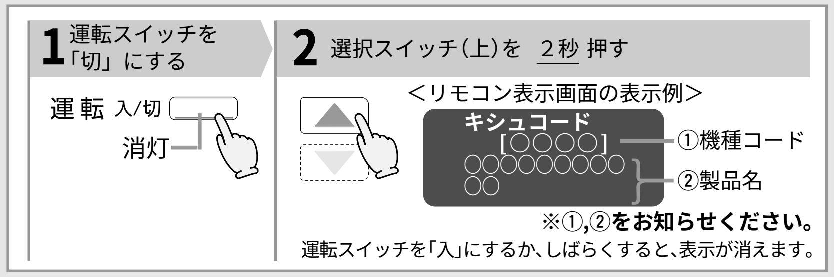
アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P42～46「故障・異常の見分けかたと処置方法」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

製品名・機器コード ・・・ 下記要領で、リモコンでお調べください



1)お買い上げ日 ・・・・・・・ 保証書をご覧ください

2)異常の状況 ・・・・・・・・・ 故障表示など、できるだけくわしく

3)ご住所・ご氏名・電話番号

4)訪問ご希望日

※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。(工事店にご相談ください。)

保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。
必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後７年(BL品は10年)です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

据え付け

据え付け場所の選定および標準据え付け例

据え付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり、販売店または、据え付け業者とよくご相談してください。また「標準据え付け例」については、工事説明書の「標準据え付け図例」をご確認ください。

騒音防止について

設置場所の選びかた次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう、充分配慮して設置場所を選択してください。(販売店とよく相談してください。)

・夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の使用には気を配りましょう。
・隣家からなるべく離して設置してください。
・ブロック塀などが近くにある場合は、音が反響して大きくなることがありますのでご注意ください。

据え付け後の確認

据え付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据え付けられているかどうかを確認してください。

試運転

試運転は販売店または、据え付け業者とご一緒に必ずおこなってください。

１.運転準備
(1)オイルタンクに灯油を入れる。
(2)送油管や機器から油漏れがないか確認する。
(3)水抜き栓、排水栓が確実に閉まっているか確認する。
(4)給水元栓を開き、給湯栓から水が出ることを確認する。
(5)配管(給水・給湯)や機器から水漏れがないか確認する。
(6)電源プラグがコンセントに完全に差し込まれているか確認する。

２.運転
●運転開始手順
(1)運転スイッチを「入」にする。(運転スイッチ点滅)
(2)運転スイッチが点灯に変わったら、給湯栓を開いて湯が出ることを確認する。
●初期運転時の異常現象
運転スイッチ「入」と同時に汲み上げポンプが運転し、オイルタンクから油を吸い上げます。このとき汲み上げポンプに油が来るまでの間、空打ちのため大きな音を発生することがありますが、故障ではありません。すぐおさまりますのでそのままお待ちください。また２分以内で汲み上げポンプに油が来なかった場合は《290》が出ますが、このようなときはいったん運転スイッチを「切」にし、３秒ほどしてから再度運転スイッチを「入」にしてください。
●正常運転の目安
(1)排気口、給排気筒トップからススが出ていないこと。
(2)機器から異常な音がしていないこと。

３.消火の手順
(1)給湯栓を閉める。
(2)運転スイッチを「切」にする。

メモ

メモ欄として活用してください。

無料修理保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店または、弊社窓口に修理をご依頼ください。

お客様	ご芳名　　　　　　　　様 ご住所	
販売店	店名 住所 電話番号	扱者印
お買い上げ日	平成　　年　　月　　日	
保証対象部分	機器本体(リモコン含む)	

BL認定品	製品名	OTQ-G405WBL OTQ-G405WSBL OTQ-G405WFFBL OTQ-G405WFF-1BL OTQ-G305WFFBL
	保証期間	お買い上げ日より２年間 (但し、熱交換器のみ３年間)

製品名	OTQ-G405W OTQ-G405WS OTQ-G405WFF OTQ-G305WFF
保証期間	お買い上げ日より１年間

【お客様へ】この保証書をお受け取りになる時にお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入・捺印してあることを確認してください。本書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店または、弊社窓口が無料修理致します。
2．保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、弊社窓口にご依頼の上、修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3．ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店または、弊社窓口にご相談ください。
4．ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理の依頼ができない場合には、弊社窓口にご相談ください。
5．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（1）取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書によらない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
（2）お買い上げ後の専門業者以外による取付場所の移動、落下等による故障及び損傷。
（3）建築躯体の変形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象。
（4）火災、地震、風水害、雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・くも・昆虫類等の侵入及びその他の天災、地変による故障及び損傷。
（5）水道管の錆び等異物の流入による故障及び損傷。
（6）車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障及び損傷。
（7）工事説明書に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障及び損傷。
（8）業務用(喫茶店、理美容院、飲食店、事務所等)でご使用になった場合。
（9）機器に表示してある以外の使用燃料・使用電源(電圧・周波数)でご使用になった場合。
（10）温泉水、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。
（11）排水不良等による機器の冠水等に起因する不具合。
（12）本書のご提示がない場合。
（13）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
6．本書は日本国内においてのみ有効です。　This warranty is valid only in Japan.
7．本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。
※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、弊社窓口にお問合わせください。

株式会社ノーリツ　神戸市中央区江戸町９３番地

見本

(040303A)

修理の窓口（保守・点検サービス含む）

NTSコールセンター

0120-911-026（電話料金無料）

※携帯電話からは　03-5327-5024〈東日本〉
　　　　　　　　　078-928-5476〈西日本〉へおかけください

受付時間：年中無休
24時間修理受付

（株式会社NTSは株式会社ノーリツ100％出資の会社です）

修理以外の窓口（商品のお問い合わせ等）

ノーリツお客様相談センター

0120-977-300（電話料金無料）

※携帯電話からは　078-921-5600　へおかけください
※FAX：078-921-5656

受付時間：平日・土曜日　9：00～19：00
祝日・日曜日　10：00～18：00
（年末年始の12月30日～1月4日は除く）